



BlackBerry UEM

アプリの管理

12.20

目次

アプリの管理.....	6
アプリリストへのアプリの追加.....	7
アプリリストへの一般のアプリの追加.....	7
アプリリストへの iOS アプリの追加.....	7
アプリリストへの Android アプリの追加.....	9
BlackBerry UEM が Android Enterprise デバイス用に設定されていない場合のアプリリストへの Android アプリの追加.....	10
アプリリストへの内部アプリの追加.....	11
内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定.....	12
アプリリストへの内部アプリの追加.....	12
Android Enterprise および Android Management デバイス用内部アプリの追加.....	14
アプリリストへの一般の BlackBerry Dynamics アプリの追加.....	19
アプリリストへの内部 BlackBerry Dynamics アプリの追加.....	19
内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加.....	20
BlackBerry Dynamics アプリのソースファイルのアップロード.....	21
iOS、macOS、および Android デバイス用アプリショートカットの追加.....	21
Android Enterprise および Android Management デバイスの Web アプリの追加または更新.....	22
アプリリストでのアプリの管理.....	24
アプリグループの管理.....	26
アプリグループの作成.....	26
アプリリストの更新.....	27
アプリリストからのアプリの削除.....	28
アプリを必須にするかオプションにするかの変更.....	28
新規アプリおよび更新アプリに関するデバイス通知.....	28
BlackBerry Dynamics アプリの管理.....	29
BlackBerry Dynamics アプリのネットワーク接続の設定.....	29
BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの作成.....	30
BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定.....	30
BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定のエクスポート.....	34
BlackBerry Dynamics 接続プロファイルへのアプリサーバーの追加.....	35
ユーザーデバイスでの BlackBerry Dynamics の制御.....	35
BlackBerry Dynamics プロファイルの作成.....	35
BlackBerry Dynamics プロファイル設定.....	36
UEM でのデバイスコマンドの BlackBerry Dynamics アプリへの送信.....	43
BlackBerry Dynamics アプリの設定の管理.....	44
iOS および macOS : BlackBerry Dynamics アプリの設定.....	45
Android : BlackBerry Dynamics アプリの設定.....	47

Windows : BlackBerry Dynamics アプリの設定.....	47
BlackBerry UEM Client アプリの設定.....	48
デバイスでの BlackBerry Dynamics アプリのアクティブ化のためのサードパーティ ID プロバイダーの設定.....	48
Apple DEP およびユーザー登録デバイスでの最初の BlackBerry Dynamics アプリの自動アクティベーション.....	49
BlackBerry Dynamics アプリサービスの管理.....	50
アプリインストールのランク付け.....	51
BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加.....	52
BlackBerry Dynamics アプリのアクセスキー、アクティベーションパスワード、または QR コードの生成.....	52
ユーザーへの BlackBerry Dynamics アプリロック解除キーおよび QR コードの送信.....	54
iOS デバイスでの BlackBerry Dynamics アプリの画面キャプチャールールの設定.....	54
BlackBerry Work からの就業時間外の通知のオフ.....	55

Microsoft Intune で保護されているアプリの管理.....56

Microsoft Intune アプリ保護プロファイルの作成.....	56
共通 : Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定.....	57
iOS : Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定.....	59
Android : Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定.....	61
Microsoft Intune で管理されているアプリのデータの消去.....	63

Apple VPP アカウントの管理..... 64

Apple VPP アカウントの追加.....	64
デバイスへの Apple VPP ライセンスの割り当て.....	65
Apple VPP ライセンスの割り当ての表示.....	65

ユーザーによる特定のアプリのインストール防止..... 66

ユーザーによる特定のアプリのインストールを防止する手順.....	67
制限されたアプリリストへのアプリの追加.....	67

デバイスで実行できるアプリの制限.....69

管理コンソールでの個人用アプリのリストの表示.....71

個人用アプリコレクションのオフ.....	71
----------------------	----

アプリのレーティングとレビュー..... 72

すべてのアプリに対するアプリのレーティングおよびレビューの有効と無効の切り替え.....	72
既存のアプリに関してアプリのレーティングとレビューを有効にする.....	73
管理コンソールでのアプリレビューの表示.....	73
アプリのレーティングとレビューの設定を複数のアプリに指定する.....	73
アプリのレーティングとレビューの削除.....	74


監視対象の iOS デバイスのホーム画面レイアウトの設定.....	75
監視対象の iOS デバイスでのアプリ通知の管理.....	76
iOS デバイスの仕事用アプリアイコンのカスタマイズ.....	78
OEM アプリの設定による Android デバイスの管理.....	79
Knox Service Plugin プロファイルの作成.....	79
Google Play でプレリリースアプリに組織のエンタープライズ ID を取得.....	80
付録：アプリの動作.....	81
MDM 制御 アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作.....	81
ユーザーのプライバシー アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作.....	85
Android Enterprise デバイスでのアプリの動作.....	87
仕事用プロファイルがない Android デバイスでのアプリの動作.....	89
Windows 10 デバイスでのアプリの動作.....	92
Samsung Knox デバイスでのアプリの動作.....	93
商標などに関する情報.....	97

アプリの管理


BlackBerry UEM では、デバイスで管理、導入、監視できるアプリのリストを作成できます。このリストに追加されたアプリは、仕事用アプリと見なされます。ユーザーのデバイスにアプリを展開するには、アプリリストにあるアプリをユーザーアカウント、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てます。

次の表に、組織のアプリを管理するときに行う可能性のある重要なタスクの概要を示します。

タスク	説明
パブリックアプリと内部アプリを UEM に追加します。	<p>アプリをアプリリストに追加して、ユーザーのデバイスに割り当てられるようにします。App Store および Google Play ストアからのアプリなど、パブリックアプリを追加できます。ソースファイルをアップロードする内部アプリを追加することもできます。</p> <p>ユーザーにアプリを割り当てる前に、特定のアプリ設定を事前に設定できる、アプリ設定を指定できます。アプリ設定を事前に指定することで、ユーザーがアプリをより簡単にダウンロード、セットアップ、および使用できるようにすることができます。たとえば、多くのアプリでは、ユーザーはアプリを使用する前に URL やメールアドレスなどの情報を入力する必要があります。アプリ設定を追加することで、これらの設定の一部を事前に指定できます。異なる目的で異なる設定のアプリに対して、複数のアプリ設定を作成し、設定をランク付けできます。アプリが異なるアプリ設定で複数回ユーザーに割り当てられた場合、最上位のランクのアプリが適用されます。</p>
アプリグループを作成および管理します。	<p>アプリグループを使用して、ユーザー、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てることができるアプリの集合体を作成できます。アプリをグループ化すると、アプリを管理する際の効率と一貫性を高めることができます。たとえば、アプリグループを使用して、複数のデバイスタイプ向けに同じアプリをグループ化したり、組織内の同じロールのユーザー向けにアプリをグループ化したりできます。</p>
アプリまたはアプリグループをユーザーアカウント、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てます。	<p>アプリまたはアプリグループを割り当て、ユーザーがインストールできるようにします。また、アプリが必須かオプションかを指定することもできます。</p>
ユーザーによる特定のアプリのインストールを防止します。	<p>制限されたアプリのリストを作成して、ユーザーがデバイスにインストールできないようにします。</p>
Intune で保護されているアプリの Microsoft Intune アプリ保護プロファイルを作成します。	<p>組織が Office 365 アプリなどのアプリのモバイル管理に Microsoft Intune を使用している場合は、Microsoft Intune アプリ保護プロファイルを作成して、Intune で保護されているアプリをアプリリストに追加する代わりに、ユーザーに割り当てる必要があります。</p>

ロックアイコン  で表示されているアプリは、BlackBerry Dynamics アプリです。

アプリリストへのアプリの追加

アプリをアプリリストに追加して、ユーザー、ユーザーグループ、およびデバイスグループに割り当てられるようにします。ロックアイコン  で表示されているアプリは、BlackBerry Dynamics アプリです。

組織が Office 365 アプリなどのアプリのモバイル管理に Microsoft Intune を使用している場合は、[Microsoft Intune アプリ保護プロファイルを作成して](#)、Intune で保護されているアプリをアプリリストに追加する代わりに、ユーザーに割り当てる必要があります。


アプリリストへの一般のアプリの追加

一般のアプリは、App Store および Google Play ストアから入手可能なアプリです。

BlackBerry Dynamics アプリの追加の詳細については、「[アプリリストへの一般の BlackBerry Dynamics アプリの追加](#)」を参照してください。

アプリリストへの iOS アプリの追加

一般の iOS アプリをアプリリストに追加する場合、App Store との接続は BlackBerry UEM コンソールを実行しているコンピュータから直接実行されます。組織でプロキシサーバーを使用している場合は、SSL インターセプト機能が使用されていないことを確認する必要があります。開く必要があるポートの詳細については、[KB 52777](#) を参照してください。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. [App Store] をクリックします。
4. 検索フィールドで、追加するアプリを検索します。アプリ名、ベンダー、または App Store URL によって検索できます。
5. ドロップダウンリストで、検索対象のストアの国を選択します。
6. [検索] をクリックします。
7. 検索結果で、[追加] をクリックしてアプリを追加します。
8. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。[カテゴリ] ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択します。	ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成します。	<ol style="list-style-type: none">a. カテゴリの名前を入力します。新しいカテゴリがドロップダウンリストに表示され、その横に「新しいカテゴリ」ラベルが表示されます。b. Enter キーを押します。c. もう一度 Enter キーを押します。

9. [アプリのレーティングとレビュー] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。

- アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード]を選択します。
- アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード]を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
- アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効]を選択します。

10. [サポートされているデバイスのフォームファクター] ドロップダウンリストで、アプリをインストールできるフォームファクターを選択します。たとえば、そのアプリが iPad の「仕事用アプリ」アプリでは使用されず、iPhone では使用されるようにすることができます。

11. デバイスが BlackBerry UEM から削除されたときに、アプリをデバイスから削除するには、[BlackBerry UEM からデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する]を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用され、[必須アプリのデフォルトのインストール]設定は、プロンプトが1回表示されるように設定されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。

12. iOS デバイスのアプリが iCloud オンラインサービスにバックアップされないようにするには [アプリに対する iCloud バックアップを無効化]を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。

13. [必須アプリのデフォルトのインストール] ドロップダウンリストで、次のいずれかの操作を実行します。

- ユーザーに対して、iOS デバイスにアプリをインストールするようにプロンプトを1回表示する場合は、[一度確認する]を選択します。
- ユーザーに対してプロンプトを表示しない場合は、[確認しない]を選択します。

ユーザーがこのプロンプトを無視した場合またはプロンプトが表示されない場合でも、BlackBerry UEM Client アプリの [仕事用アプリ] 画面またはデバイスの仕事用アプリアイコンから後でアプリをインストールできます。ユーザーにプロンプトを表示するこのオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。

14. [インストールされた個人用アプリを仕事用アプリに変換する] ドロップダウンリストで、次のいずれかを選択します。

- 既にインストールされているアプリを仕事用アプリに変換する場合は、[変換]を選択します。アプリをユーザーに割り当てた後、そのアプリを仕事用アプリに変換して、BlackBerry UEM で管理することができます。
- 既にインストールされているアプリを仕事用アプリに変換しない場合は、[変換しない]を選択します。アプリをユーザーに割り当てると、そのアプリを BlackBerry UEM で管理できなくなります。

15. アプリの設定（例えば、接続情報など）を事前に設定できる場合、アプリベンダーから設定の詳細を取得し、必要に応じて次のアクションを実行します。

a) [アプリの設定] 表で、次のタスクのいずれかを完了します。

タスク	手順
XML テンプレートからアプリの設定を作成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. +> [テンプレートから作成] をクリックします。 2. [参照] をクリックして、追加するテンプレートを選択します。 3. [アップロード] をクリックします。 4. 各設定で、設定する値を入力します。

タスク	手順
別のアプリ設定をコピーする。	<ol style="list-style-type: none"> 1. + > [アプリ設定からコピー] をクリックします。 2. [コピー元] ドロップダウンリストで、コピーするアプリ設定を選択します。 3. 各設定で、キー名または値を編集します。
アプリ設定を手動で作成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. + > [手動で設定] をクリックします。 2. 追加する設定ごとに + をクリックし、設定の値タイプを選択します。 3. 各設定で、キー名と設定する値を入力します。

- b) [アプリ設定名] フィールドに名前を入力します。
- c) [保存] をクリックします。
- d) 必要に応じて、矢印を使用してプロファイルを上下に移動してランク付けします。異なる複数のアプリ設定がアプリに割り当てられている場合、ランクの高いアプリ設定が適用されます。



16. [追加] をクリックします。

アプリリストへの **Android** アプリの追加

Android Enterprise デバイスのサポートを設定した場合、Google に接続することで、BlackBerry UEM は Google Play からアプリ情報を取得できます。Google Play との接続は UEM コンソールを実行しているコンピューターから直接行われます。組織でプロキシサーバーを使用している場合は、SSL インターセプト機能が使用されていないことを確認する必要があります。開く必要があるポートの詳細については、[KB 52777](#) を参照してください。

Android Enterprise デバイスをサポートしないように UEM が設定されている場合は、「[BlackBerry UEM が Android Enterprise デバイス用に設定されていない場合のアプリリストへの Android アプリの追加](#)」を参照してください。

Samsung Knox Workspace で Google Play を使用してアプリを管理するには、アクティベーションプロファイルで Samsung Knox Workspace デバイスの Google Play アプリ管理を許可する必要があります。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. [Google Play] をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、 をクリックします。
5. 追加するアプリを検索するか、ストアのホームページでアプリを選びます。
6. アプリを選択します。
7. [承認] をクリックします。
8. [完了] をクリックします。
9. [アプリの説明] フィールドで、アプリの説明を入力します。
10. アプリのスクリーンショットを追加するには、[追加] をクリックして、スクリーンショットを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
11. [保存] をクリックします。
12. [送信先] ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。
 - アプリをすべての Android デバイスに送信する場合は、[すべての **Android** デバイス] を選択します。

- Samsung Knox Workspace を使用する Android デバイスのみにアプリを送信する場合、[**Samsung KNOX Workspace** デバイス] を選択します。
 - Android Enterprise デバイスにのみアプリを送信する場合は、[仕事用プロファイルがある **Android** デバイス] を選択します。
13. Android Enterprise デバイスでアプリを自動的に更新する場合は、[利用可能な更新時に **Android** エンタープライズデバイスでアプリを自動更新する] を選択します。
14. 設定をサポートするアプリの場合、[アプリの設定] 表が表示されます。アプリ設定を作成する場合、次の手順に従います。
- a) **+** をクリックして、アプリ設定を追加します。
 - b) アプリの設定の名前を入力し、使用する設定を指定します。
 - c) [保存] をクリックします。
 - d) 必要に応じて、矢印を使用してプロファイルを上下に移動してランク付けします。異なる複数のアプリ設定がアプリに割り当てられている場合、ランクの高いアプリ設定が適用されます。
15. Google Play アプリ管理を備えたデバイスの場合、[**Android** アプリの追加] ダイアログボックスの [アプリの整理] 機能を使用して、Google Play ストアのレイアウトを管理する必要があります。アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを作成または選択できます。次の手順を完了します。
- a) **☰** をクリックします。
 - b) [**Google Play**] をクリックします。
 - c) 左側のメニューの下部にある [アプリの整理] をクリックします。
 - d) [コレクションを作成] をクリックします。
 - e) コレクションに名前を付け、[次へ] をクリックします。
 - f) コレクションに追加するアプリを選択します。
 - g) [アプリを追加] をクリックします。
 - h) [保存] をクリックします。
16. [アプリのレーティングとレビュー] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。
- アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード] を選択します。
 - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード] を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、UEM 管理コンソールで表示できます。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効] を選択します。
17. [追加] をクリックします。

終了したら： 必要な場合は、**デバイス SR 要件プロファイル**でフォアグラウンドで実行されているアプリの更新動作を指定できます。

BlackBerry UEM が **Android Enterprise** デバイス用に設定されていない場合のアプリリストへの **Android** アプリの追加

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2. **☰** をクリックします。
3. [**Google Play**] をクリックします。

4. [Google Play を開く] をクリックし、追加するアプリを検索します。その後、次の手順で、ダウンロードアイコンとスクリーンショットも使用して、Google Play から情報をコピーして貼り付けることができます。
5. [アプリ名] フィールドにアプリ名を入力します。
6. [アプリの説明] フィールドで、アプリの説明を入力します。
7. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。[カテゴリ] ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択する	ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成する	<ol style="list-style-type: none"> a. カテゴリの名前を入力します。新しいカテゴリがドロップダウンリストに表示され、その横に「新しいカテゴリ」ラベルが表示されます。 b. Enter キーを押します。 c. Enter キーを押します。

8. [アプリのレーティングとレビュー] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード] を選択します。
 - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード] を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効] を選択します。
9. [ベンダー] フィールドに、アプリベンダーの名前を入力します。
10. [アプリアイコン] フィールドで、[参照] をクリックします。アプリのアイコンを見つけて選択します。サポートされている形式は、.png、.jpg、.jpeg、または .gif です。Google Chrome を使用してアイコンをダウンロードしないでください。互換性のない .webp 画像がダウンロードされてしまうからです。
11. [Google Play からのアプリの Web アドレス] フィールドで、Google Play 内のアプリの Web アドレスを入力します。
12. アプリのスクリーンショットを追加するには、[追加] をクリックして、スクリーンショットを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
13. [送信先] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
 - アプリをすべての Android デバイスに送信する場合は、[すべての Android デバイス] を選択します。
 - Samsung Knox Workspace を使用する Android デバイスのみにアプリを送信する場合、[KNOX Workspace デバイスのみ] を選択します。
14. [追加] をクリックします。

アプリリストへの内部アプリの追加

内部アプリには、組織によって開発された独自のアプリ、および組織が独占的に使用するためのアプリが含まれます。

iOS デバイスの場合、および仕事用プロファイルで Google Play へのアクセスを許可しない Android デバイスの場合、内部アプリは BlackBerry UEM Client の [割り当てられた仕事用アプリ] に表示されます。

Android Enterprise デバイスの場合、割り当てられた内部アプリのリストは仕事用プロファイルの Google Play で利用できます。

BlackBerry Dynamics アプリの詳細については、「[内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加](#)」を参照してください。

内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定

オンプレミス BlackBerry UEM 環境がある場合、内部アプリを使用可能なアプリリストに追加する前に、アップロードするアプリソースファイルを保存するための共有ネットワークの場所を指定する必要があります。内部ネットワークを継続して使用できるように確保するため、このネットワークの場所は高可用性ソリューションを備え、定期的にバックアップする必要があります。また BlackBerry UEM のアップグレード時に削除されてしまうため、BlackBerry UEM のインストールフォルダー内には共有ネットワークフォルダーを作成しないでください。BlackBerry UEM Cloud を使用している場合は、アプリファイル用にネットワークの場所を指定する必要はありません。

作業を始める前に：

- BlackBerry UEM をホストするネットワーク上に、共有ネットワークフォルダーを作成し、内部アプリのソースファイルを保存します。
- BlackBerry UEM をホストするコンピューターのサービスアカウントに、共有ネットワークフォルダーへの読み取り権限と書き込み権限があることを確認します。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[設定] をクリックします。
2. 左ペインで、[アプリ管理] を展開します。
3. [内部アプリのストレージ] をクリックします。
4. [ネットワーク上の場所] フィールドに、次の形式で、共有ネットワークフォルダーのパスを入力します。

`\\<computer_name>\<shared_network_folder>`

共有ネットワークパスは、UNC 形式で入力する必要があります（例：\\ComputerName\Applications\InternalApps）。


5. [保存] をクリックします。

アプリリストへの内部アプリの追加

これらの手順を使用して、すべてのデバイスのアプリリストに内部アプリを追加します。Android Enterprise デバイスを管理している場合は、「[Android Enterprise および Android Management デバイス用内部アプリの追加](#)」を参照して、これらのデバイスに内部アプリを追加する推奨方法を確認してください。

iOS アプリは ipa ファイル、Android アプリは .apk ファイル、Windows 10 アプリは .xap ファイルまたは .appx ファイルである必要があります。内部アプリは、必ず署名付きで、変更することはできません。

作業を始める前に：オンプレミス BlackBerry UEM 環境がある場合は、[内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定](#)を行います。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. [内部アプリ] をクリックします。
4. [参照] をクリックします。追加または更新するアプリへ移動します。
5. [開く] をクリックします。

6. [追加] をクリックします。
7. オプションで、ベンダー名とアプリの説明を追加します。
8. アプリの画面キャプチャを追加するには、[追加] をクリックします。画面キャプチャを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または.gif です。
9. iOS アプリを追加する場合は、次の操作を実行します。
 - a) [サポートされているデバイスのフォームファクター] ドロップダウンリストで、アプリをインストールできるフォームファクターを選択します。たとえば、そのアプリが iPad デバイスの「仕事用アプリ」アプリで使用されず、iPhone では使用されるようにすることができます。
 - b) デバイスが BlackBerry UEM から削除されたときに、アプリをデバイスから削除するには、[BlackBerry UEM からデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する] を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用され、[必須アプリのデフォルトのインストール] 設定は、プロンプトが 1 回表示されるように設定されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。
 - c) iOS デバイスのアプリが iCloud オンラインサービスにバックアップされないようにするには [アプリに対する iCloud バックアップを無効化] を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。
 - d) iOS デバイスにアプリをインストールするようにプロンプトを 1 回表示する場合は、[必須アプリのデフォルトのインストール] ドロップダウンリストで、[一度確認する] を選択します。ユーザーにプロンプトが表示されない、またはユーザーがこのプロンプトを無視する場合、後から、BlackBerry UEM Client アプリの [仕事用アプリ] 画面またはデバイスの仕事用アプリアイコンを使用してアプリをインストールできます。
10. Android アプリを追加する場合は、[送信先] ドロップダウンリストで、次のいずれかの操作を実行します。
 - アプリをすべての Android デバイスに送信する場合は、[すべての Android デバイス] を選択します。
 - Samsung Knox Workspace を使用する Android デバイスのみにアプリを送信する場合、[Samsung KNOX Workspace デバイス] を選択します。
 - Android Enterprise デバイスにのみアプリを送信する場合は、[仕事用プロファイルがある Android デバイス] を選択します。
11. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。[カテゴリ] ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択します。	ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成します。	<ol style="list-style-type: none"> a. カテゴリの名前を入力します。[新しいカテゴリ] がドロップダウンリストに表示され、その横に新しいカテゴリのラベルが表示されます。 b. Enter キーを押します。 c. Enter キーを押します。

12. [アプリのレーティングとレビュー] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード] を選択します。

- ・ アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード] を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
- ・ アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効] を選択します。

13. 設定をサポートするアプリの場合、[アプリの設定] 表が表示されます。アプリ設定を作成する場合、次の手順に従います。

- a) + をクリックして、アプリ設定を追加します。
- b) アプリの設定の名前を入力し、使用する設定を指定します。
- c) [保存] をクリックします。
- d) 必要に応じて、矢印を使用してプロファイルを上下に移動してランク付けします。異なる複数のアプリ設定がアプリに割り当てられている場合、ランクの高いアプリ設定が適用されます。

14. [追加] をクリックします。json ファイルを使用して BlackBerry UEM でアプリをホストする場合、表示された URL をコピーして保存します。

内部アプリの更新

内部アプリを更新すると、更新されたアプリは、現在ユーザーおよびグループに割り当てられたアプリと置き換えられます。ユーザーにデバイスに新しいバージョンのアプリをインストールするよう求めるプロンプトが表示されます。

既存のアプリ設定で内部 iOS アプリを更新している場合は、バージョン更新中に同じ名前でアプリ設定を作成します。BlackBerry UEM は、その後自動的に新しいバージョンをユーザーに導入できます。

Google Play にプライベートアプリとして追加した Android Enterprise アプリを更新する場合は、「[Android Enterprise デバイス用プライベートアプリの更新](#)」を参照してください。

作業を始める前に： Google Developers Console で Google Play に追加した Android Enterprise デバイス用のアプリを更新する場合、「[Google Developers Console を使用した内部 Android アプリの追加](#)」を参照してアプリの更新したバージョンを Google Play に追加し、Google がアプリを公開するまで約 24 時間待機します。それから、次の手順に従って BlackBerry UEM のアプリを更新します。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2. 更新する内部アプリをクリックします。
3. 右上隅にある ☰ をクリックします。
4. [内部アプリを更新] ダイアログボックスで、[参照] をクリックし、更新するアプリに移動します。
5. [保存] ボタンが表示されるまで、[追加] をクリックします。
6. [保存] をクリックします。


Android Enterprise および Android Management デバイス用内部アプリの追加

BlackBerry UEM 管理コンソールと Google Developers Console を使用して、Android Enterprise および Android Management デバイスに内部アプリを追加できます。使用方法は、いくつかの要因によって異なります。



オプション	説明
<p>BlackBerry UEM 管理コンソールを使用した Android Enterprise デバイスのアプリリストへのプライベートアプリの追加。</p> <p>(Android Enterprise 専用)</p>	<p>Google Play で新しい内部アプリをプライベートアプリとしてホストするオプションです。このオプションを選択した場合、Google から開発者アカウントを購入する必要はありません。この方法は、次の状況でのみ使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> Android アクティベーションタイプのデバイスにのみ Android Enterprise アプリを展開している場合。アプリを他の Android アクティベーションタイプで使用できるようにするには、Google Developers Console を使用します。 アプリを1つの UEM インスタンスまたは UEM Cloud テナントにのみ追加している場合。アプリを複数のインスタンスまたはテナントに追加する場合は、この方法を使用して初めてアプリを追加し、Google Developers Console を使用して追加のインスタンスまたはテナントに追加できます。 リストに新しいアプリを追加している場合。この方法を使用してすでに追加したアプリを更新するには、「Android Enterprise デバイス用プライベートアプリの更新」を参照してください。
<p>Google Developers Console を使用して内部アプリを追加します。</p>	<p>この方法では Google Developers Console の使用が伴い、Google から開発者アカウントを購入することが必要になります。この方法は、次の状況で使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> アプリを複数の UEM インスタンスまたはテナントに追加する場合。 Google Developers Console を使用して以前に追加したアプリを更新している場合。 組織で、仕事用プロフィールで Google Play を許可されていない場合。 <p>この方法を使用すると、.apk ファイルをアップロードして Google Play でホストするか、アプリをローカルでホストして .json ファイルを Google Developers Console にアップロードできます。</p>

BlackBerry UEM 管理コンソールを使用した Android Enterprise デバイスのアプリリストへのプライベートアプリの追加

Android Enterprise デバイスに導入する Google Play のプライベートアプリとして内部アプリを追加するには、次の手順を実行します。

アプリリストでは、プライベートアプリに  記号が表示され、Android Enterprise 組織名が [ベンダー] フィールドに表示されます。

作業を始める前に：オンプレミス BlackBerry UEM 環境がある場合は、[内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定](#)を行います。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. [Google Play] をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、[プライベートアプリ] をクリックします。
5.  をクリックします。
6. [タイトル] フィールドに、デバイスに表示されるテキストを入力します。
7. [APK をアップロード] をクリックし、追加するアプリへ移動して、[開く] をクリックします。

8. [作成] をクリックします。

Web アプリが Google Play で作成され、アプリが [プライベートアプリ] タブに表示されます。Google Play は数分かけて.apk ファイルをアップロードおよび検証して、UEM にアプリの準備ができたことを通知します。UEM が apk ファイルを受信すると、アプリをアプリリストに自動的に追加します。

9. [アプリの説明] フィールドで、アプリの説明を入力します。

10.アプリのスクリーンショットを追加するには、[追加] をクリックして、スクリーンショットを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。

11.Android Enterprise デバイスでアプリを自動的に更新する場合は、[利用可能な更新時に Android エンタープライズデバイスでアプリを自動更新する] を選択します。

12.設定をサポートするアプリの場合、[アプリの設定] 表が表示されます。アプリ設定を作成する場合、次の手順に従います。

a) + をクリックして、アプリ設定を追加します。

b) アプリの設定の名前を入力し、使用する設定を指定します。

c) [保存] をクリックします。

d) 必要に応じて、矢印を使用してプロファイルを上下に移動してランク付けします。異なる複数のアプリ設定がアプリに割り当てられている場合、ランクの高いアプリ設定が適用されます。

13.アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。[カテゴリ] ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択します。	ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成します。	a. カテゴリの名前を入力します。新しいカテゴリがドロップダウンリストに表示され、その横に「新しいカテゴリ」ラベルが表示されます。 b. Enter キーを押します。

14. [アプリのレーティングとレビュー] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。

- アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード] を選択します。
- アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード] を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、UEM 管理コンソールで表示できます。
- アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効] を選択します。

15. [追加] をクリックします。

終了したら：対象アプリが BlackBerry Dynamics アプリである場合、そのアプリに対して BlackBerry Dynamics アプリの権限を作成し、アプリと権限の両方をユーザーに割り当てます。詳細については、「[内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加](#)」を参照してください。

Android Enterprise デバイス用プライベートアプリの更新

プライベートアプリを新しいバージョンの .apk ファイルで更新し、Google Play のアプリ情報を更新できます。複数の BlackBerry UEM インスタンスまたは UEM Cloud テナントのアプリを更新する場合、この方法で最初のインスタンスまたはテナントのアプリを更新し、それから Google Developers Console で残りのインスタンスまたはテナントに更新を追加できます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2. ☰ をクリックします。
3. [Google Play] をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、[プライベートアプリ] をクリックします。
5. 更新するアプリをクリックします。
6. [編集] をクリックします。
7. .apk ファイルを更新されたバージョンに置き換えるには、ファイル名の横にある [編集] をクリックして、新しいファイルをアップロードします。
8. Google Play でアプリの設定を更新するには、[高度な編集を行う] をクリックし、必要な変更を行います。
9. [保存] をクリックします。

Google Developers Console を使用した内部 Android アプリの追加

Google Developers Console を使用して、Android デバイス用に内部アプリをアップロードできます。Google Developers Console にログインするには、Google の開発者アカウントが必要です。


Google Play を使用してアプリをホストする場合、設定を使用してアプリの動作を変更し、アプリを必須またはオプションに設定することができます。Google Play でアプリをホストするには、ユーザーが内部アプリを自身のデバイスにインストールすることができるように、.apk ファイルを Google Developers Console にアップロードして Google Play でアプリを公開する必要があります。Google Developers Console で Android デバイスの .apk ファイルをアップロードする手順については、「[Google Workspace 管理者ヘルプ : Google Play でのプライベート Android アプリの管理](#)」を参照してください。これは Android Enterprise と Android Management デバイスの両方でサポートされています。

(Android Management デバイスでサポートされていない) BlackBerry UEM で Android デバイス向けの内部アプリをホストするには、アプリに .json ファイルを生成してその .json ファイルを Google Play にアップロードし、公開されたアプリのライセンスキーを取得する必要があります。UEM でホストされているアプリは、オプションとしてのみ設定することができます。設定を使用して、アプリの機能や動作を変更することはできません。UEM で .apk ファイルをホストするには、次の要件を満たしている必要があります。

- OpenSSL、JDK、Python 2.x、および Android Asset Packaging Tool (aapt) がアプリをホストしているコンピュータ上のパスにインストールされていることを確認します。
- ユーザーに割り当てられたアクティベーションプロファイルで、[仕事用領域に Google Play アカウントを追加する] オプションが選択されていないことを確認します。
- Android Enterprise のサポートを設定している場合、Android Enterprise の設定に使用した開発者アカウントに、同じメールアドレスを使用します。
- UEM でホストされているアプリは、オプションとしてのみ設定することができます。設定を使用して、アプリの機能や動作を変更することはできません。
- UEM で、[アプリリストに内部アプリを追加します](#)。[Android Enterprise のアプリを有効化] オプションを選択し、[アプリは次にホストされます:] ドロップダウンリストで [BlackBerry UEM] をクリックします。UEM に表示されている URL をコピーして保存します。

すべての Android デバイスに対してアプリをホストしている場合でも、[**Android Enterprise** 用のアプリを有効化] を選択する必要があります。

詳細については、「[Managed Google Play ヘルプ : Play コンソールからのプライベートアプリの公開](#)」を参照してください。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. [内部アプリ] をクリックします。
4. [参照] をクリックします。追加または更新するアプリへ移動します。
5. [開く] をクリックします。
6. [追加] をクリックします。
7. オプションで、ベンダー名とアプリの説明を追加します。
8. アプリの画面キャプチャを追加するには、[追加] をクリックします。画面キャプチャを参照します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または .gif です。
9. [送信先] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
 - アプリをすべての Android デバイスに送信する場合は、[すべての **Android** デバイス] を選択します。
 - Samsung Knox Workspace を使用する Android デバイスのみにアプリを送信する場合は、[**Samsung KNOX Workspace** デバイス] を選択します。
 - Android Enterprise デバイスにのみアプリを送信する場合は、[仕事用プロファイルがある **Android** デバイス] を選択します。
10. アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリ別に整理したりする場合、アプリのカテゴリを選択できます。[カテゴリ] ドロップダウンリストで、次のいずれかを実行します。

タスク	手順
アプリのカテゴリを選択します。	ドロップダウンリストで、カテゴリを選択します。
アプリのカテゴリを作成します。	<ol style="list-style-type: none">a. カテゴリの名前を入力します。[新しいカテゴリ] がドロップダウンリストに表示され、その横に新しいカテゴリのラベルが表示されます。b. Enter キーを押します。c. Enter キーを押します。

11. [アプリのレーティングとレビュー] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。アプリの複数のバージョンが存在する場合、指定された設定は、アプリのすべてのバージョンに適用されます。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力した全レビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード] を選択します。
 - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード] を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効] を選択します。
12. 設定をサポートするアプリの場合、[アプリの設定] 表が表示されます。アプリ設定を作成する場合、次の手順に従います。

- a) + をクリックして、アプリ設定を追加します。
- b) アプリの設定の名前を入力し、使用する設定を指定します。
- c) [保存] をクリックします。
- d) 必要に応じて、矢印を使用してプロファイルを上下に移動してランク付けします。異なる複数のアプリ設定がアプリに割り当てられている場合、ランクの高いアプリ設定が適用されます。

13. [追加] をクリックします。 .json ファイルを使用して BlackBerry UEM でアプリをホストする場合、表示された URL をコピーして保存します。

終了したら：すでに追加したアプリを更新する場合は、24 時間待ってから、「[内部アプリの更新](#)」を参照してプロセスを完了します。

アプリリストへの一般の BlackBerry Dynamics アプリの追加

パブリック BlackBerry Dynamics アプリを使用する権限が組織にある場合、パブリックアプリは自動的にアプリリストに追加されます。 BlackBerry Marketplace for Enterprise Software から BlackBerry Dynamics アプリの権限を取得できます。 UEM は、マーケットプレイスと同期し、24 時間ごとにアプリリストを更新しますが、アプリリストを即座に更新することもできます。

メモ：ユーザーは、アプリの割り当て元と同じ BlackBerry UEM 環境で、アプリをアクティベーションする必要があります。 外部 BlackBerry Dynamics 環境から取得したアクセスキー、アクティベーションパスワード、または QR コードでは、BlackBerry Dynamics アプリをアクティベートできません。 QR コードまたはアクティベーションパスワードを使用するには、アプリが BlackBerry Dynamics SDK バージョン 8.0 以降を使用している必要があります。

1. <https://marketplace.blackberry.com/apps> でアカウントにログインします。
2. BlackBerry Marketplace for Enterprise Software でアプリを探し、トライアルをリクエストします。アプリは組織で利用可能になり、アプリを BlackBerry UEM に同期し終えた後に、ユーザーに割り当てられます。
3. アプリを購入するには、アプリ開発者から提供されている指示に従ってください。

アプリリストへの内部 BlackBerry Dynamics アプリの追加

内部 BlackBerry Dynamics アプリをアプリリストに追加する場合は、権限を追加し、ソースファイルをアップロードする必要があります。

パブリック Google Play ストアのアプリのソースファイルを使用し、ユーザーが Google Play にアクセスせずにアプリをインストールできるように、内部アプリとしてアップロードすることができます。 Google Play アプリを内部アプリとして追加すると、[送信先] および [制限されるバージョン] オプションはサポートされません。

Android Enterprise アクティベーションタイプでは、Google Play がアクセス不可で、かつユーザーに割り当てられているアクティベーションプロファイルで [Google Play アカウントをワークスペースに追加] オプションが選択されていない場合、アプリのソースファイルのみがデバイスに送信されます。


Android Enterprise アクティベーションタイプでは、Google Play がアクセス可能で、かつユーザーに割り当てられているアクティベーションプロファイルで [Google Play アカウントを仕事用領域に追加] オプションが選択されている場合、Google Play で公開されているアプリのみがデバイスに送信されます。これは、アクティベーションタイプが Samsung Knox で、アクティベーションプロファイル内で [Samsung Knox Workspace デバイスの Google Play アプリ管理] が選択されている場合にも適用されます。

内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加

内部 BlackBerry Dynamics アプリを追加するには、BlackBerry UEM でその権限を追加する必要があります。権限が追加された後、アプリソースファイルをアップロードできます。

作業を始める前に：

- オンプレミス UEM 環境がある場合は、[内部アプリを保存する共有ネットワークの場所の指定](#)を行います。
- 内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限を追加できるようにするには、適切なライセンスが必要です。詳細については、『[BlackBerry Enterprise ライセンスガイド](#)』を参照してください。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. [内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限] をクリックします。
4. [名前] フィールドに、追加するアプリの名前を入力します。
5. [BlackBerry Dynamics の権限 ID] フィールドに、追加するアプリの権限 ID を入力します。アプリの権限 ID がわからない場合は、アプリ開発者にお問い合わせください。権限 ID の詳細については、[BlackBerry Dynamics SDK のマニュアル](#)を参照してください。権限 ID は次の形式で指定する必要があります。
 - com.yourcompany.appname のような逆ドメイン名形式。
 - 次のいずれかで始めることはできません。
 - com.blackberry
 - com.good
 - com.rim
 - net.rim
 - 大文字を含めることはできません。
 - [RFC 1123 の第 2.1 項で修正された RFC 1035 の第 2.3.1 項で定義されている <サブドメイン> 形式に従う必要があります。](#)
6. [BlackBerry Dynamics の権限バージョン] フィールドに、権限バージョンを入力します。アプリの権限バージョンがわからない場合は、アプリ開発者にお問い合わせください。権限バージョンは次の形式で指定する必要があります。
 - 100 や 1.2.3.4 のように、ピリオドで区切られた、1~4 つの数字のセグメント。
 - 数値セグメントで先頭にゼロを使用しないでください。たとえば、0100 や 01.02.03.04 は使用できません。
 - 数値セグメントの長さは、100.200.300.400 のように、1~3 つの文字にすることができます。
7. 必要に応じて、アプリの説明を追加します。
8. [追加] をクリックします。

終了したら：次の操作のいずれかを実行します。

- アプリが Android Enterprise デバイスにインストールされ、Google Play でアプリをプライベートアプリとして管理している場合は、[BlackBerry UEM 管理コンソールを使用した Android Enterprise デバイスのアプリリストへのプライベートアプリの追加](#)を行います。
- アプリが Android Enterprise デバイスにインストールされ、Google Play でアプリをプライベートアプリとして管理しない場合は、[Google Developers Console を使用した内部 Android アプリの追加](#)を行います。
- 一般的なその他のデバイスの場合は、[BlackBerry Dynamics アプリのソースファイルのアップロード](#)を行います。

BlackBerry Dynamics アプリのソースファイルのアップロード

BlackBerry Dynamics アプリの権限が作成されたら、該当するデバイスプラットフォームのソースファイルがアップロード可能になります。BlackBerry Dynamics アプリが Google Play でプライベートアプリとして管理されている場合、または Google Developers Console を使用して追加した場合、アプリのソースファイルをアップロードする必要はありません。

作業を始める前に： [内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加](#)。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2. ソースファイルをアップロードするアプリをクリックします。
3. ソースファイルをアップロードするデバイスプラットフォームのタブをクリックします。
4. [アプリソースファイル] セクションで、[追加] をクリックします。
5. [参照] をクリックします。追加または更新するアプリへ移動します。
6. [追加] をクリックします。
7. 必要に応じて、アプリの設定を更新します。詳細については、「[BlackBerry Dynamics アプリの設定の管理](#)」を参照してください。


iOS、macOS、および Android デバイス用アプリショートカットの追加

デバイスにアプリのショートカットを作成し、ユーザーがタップして Web アドレスにすばやくアクセスできるようにすることができます。ユーザーのデバイスに表示するショートカットごとにアプリショートカットを作成します。

Android デバイスの場合、Web アドレスの代わりに別のアプリを開くように指定するオプションがあります。

BlackBerry Dynamics でアクティブ化されたデバイスの場合、BlackBerry Dynamics Launcher にショートカットを追加するオプションがあります。


作業を始める前に：「機能 - BlackBerry App Store」(com.blackberry.feature.appstore) のアプリ権限がユーザーに割り当てられていることを確認します。


1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. [アプリショートカット] をクリックします。
4. アプリショートカットの名前と説明を入力します。この名前は、アプリショートカットのラベルとして使用されます。
5. [ショートカットアイコン] フィールドの横にある [参照] をクリックします。アプリショートカットアイコンの画像を見つけて選択します。
6. このアプリショートカットを設定するデバイスタイプを選択します。
7. 選択した各デバイスタイプタブの [URL] フィールドに、ショートカットの Web アドレスを入力します。Web アドレスでは、先頭に http:// または https:// を指定する必要があります。
8. iOS および iPadOS 14 以降のデバイスでは、[ターゲットアプリ] フィールドで、URL を開くアプリを指定します。
9. iOS および iPadOS 15 以降のデバイスでは、ショートカットのオプションを指定します。
 - a) デバイスのホーム画面にショートカットを追加するには、ユーザーのホーム画面を選択します。


- b) ユーザーにショートカットの削除を許可する場合は [ユーザーにアプリショートカットの削除を許可する] を選択します。
 - c) Web クリップをブラウザーウィンドウに表示しない場合は、 [フル画面アプリとして開く] を選択します。
 - d) Web クリップがブラウザーウィンドウに表示されず、ユーザーが Web クリップから移動したときにブラウザー UI を表示したくない場合は、 [マニフェストスコープを無視する] を選択します。
10. ショートカットを追加する位置を選択します。 BlackBerry Dynamics Launcher にショートカットを追加する場合は、 Web サイトを BlackBerry Access ブラウザーで開くかどうかを指定します。
11. [追加] をクリックします。

Android Enterprise および Android Management デバイスの Web アプリの追加または更新

Web アプリは、Web サイトアドレス (URL)、アイコンイメージ、およびタイトルを使用して作成する Android アプリです。ユーザーがデバイスで Web アプリを開くと、URL が Google Chrome ブラウザで開きます。

Web アプリを追加するとき、Google Web アプリシステムは .apk ファイルを作成し、ユーザーが仕事用プロフィールにインストールできるように Google Play でホストします。Google は、「com.google.enterprise.webapp」で始まる Web アプリのアプリパッケージ ID を生成します。アプリリストでは、Google Web アプリに  記号が表示され、 [ベンダー] フィールドに Android Enterprise 組織名が表示されます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、 [アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. [Google Play] をクリックします。
4. 左側のナビゲーションメニューで、 [Web アプリ] をクリックします。
5. 次の操作のいずれかを実行します。

タスク	手順
<p>Web アプリを作成します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> a.  をクリックします。 b. [タイトル] フィールドに、デバイスに表示されるテキストを入力します。 c. [URL] フィールドに、ショートカットの Web アドレスを入力します。Web アドレスは、「https://」で始まる必要があります。 d. Web アプリにフルスクリーン、スタンドアロン、または最小限の UI を表示するかを選択します。 e. [アップロードアイコン] をクリックし、Web アプリに使用するアイコンを参照します。 f. [作成] をクリックします。 <p>Web アプリが Google Play で作成されます。Google Play は、.apk ファイルを作成して UEM に送信するのに数分かかります。UEM が apk ファイルを受信すると、Web アプリをアプリリストに自動で追加します。</p> <p>アプリが予想通りにアプリリストに追加されない場合は、以下の手順に従って、手動で追加します。</p> <ul style="list-style-type: none"> a. [Google Play] 画面（[アプリ] > [アプリを追加] > [Google Play] > Web アプリアイコン）から、以前に作成した Web アプリを選択します。 b. 画面の右下にある [選択] をクリックします。 c. [追加] をクリックします。 <p>Web アプリがアプリリストに表示されます。</p>
<p>Web アプリを更新します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> a. 更新する Web アプリをクリックします。 b. [編集] をクリックします。 c. 必要に応じて設定を更新します。 d. [保存] をクリックします。 <p>Web アプリが Google Play で作成されます。Google Play は、.apk ファイルを作成して UEM に送信するのに数分かかります。UEM が apk ファイルを受信すると、アプリリストが自動的に更新されます。</p>


アプリリストでのアプリの管理



アプリリストには、ユーザー、ユーザーグループ、およびデバイスグループに割り当てることができるアプリが含まれます。Microsoft Intune アプリ保護プロファイルによってユーザーに割り当てられたアプリは、アプリリストには表示されません。

アプリリストで、BlackBerry Dynamics アプリにロックアイコン (🔒) が表示されます。BlackBerry Dynamics アプリの管理に固有の情報については、「[BlackBerry Dynamics アプリの管理](#)」を参照してください。

アプリリストから、アプリをクリックして、ユーザーアカウントに割り当てられているアプリおよびアプリグループのステータスを理解できます。

アプリリストのアプリは、[アプリ] 画面から管理できます。

タブまたは列名	説明
アプリリストビューをカスタマイズします。	<ul style="list-style-type: none">表示する列を変更するには、右上の  をクリックして列を選択します。列を並べ替えるには、列ヘッダーをドラッグして配置します。
アプリリストをフィルターします。	<p>左側のペインからアプリリストをフィルターできます。各カテゴリには、結果が表示されるフィルターのみが含まれ、各フィルターは適用時に表示される結果の件数を示します。</p> <ul style="list-style-type: none">複数選択がオンになっている場合は、目的のフィルターを選択して [送信] をクリックします。複数選択がオフになっている場合は、累積的に1つずつフィルターを適用します。右側のペインの結果の上で、削除する各フィルターの X をクリックするか、[すべてクリア] をクリックしてすべてのデバイスを表示します。

タブまたは列名	説明
<p>アプリの割り当てとインストールステータスを表示します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 割り当てまたはインストールステータスを表示するアプリをクリックします。 2. [x ユーザーに割り当て済み] タブには、次の情報が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [フィードバック] 列には、Android アプリから最後に受信したフィードバックの日時が表示されます。UEM が受信するフィードバックは、アプリによって異なり、情報フィードバックやエラー (⚠) の結果として含まれる場合があります。 • [名前] 列には、アプリが割り当てられているユーザー名が表示されます。 • [デバイス] 列には、アプリが割り当てられているデバイスの名前が表示されます。 • [割り当て] 列は、アプリがユーザーアカウント、ユーザーグループ、またはデバイスグループに直接割り当てられているかどうかを表示します。 • [ステータス] 列は、アプリがデバイスにインストールされているかどうかを表示します。 3. [x グループに割り当て] タブには、アプリが割り当てられたユーザーグループと、関連付けられたユーザー数が表示されます。 <p>アプリの割り当てを削除する場合は、割り当てを選択して  または  をクリックします。</p>
<p>[ステータス] 列</p>	<p>この列は、アプリがデバイスにインストールされているかどうかを表示します。考えられるステータスは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インストール済み：アプリはユーザーのデバイスにインストールされています。ユーザーのプライバシー アクティベーションタイプの iOS デバイスでは、このステータスはインストールが開始されたことのみを示します。BlackBerry UEM は、アプリがデバイスにインストールされた状態であるかどうかを確認できません。 • インストールされていません：このアプリは、ユーザーのデバイスにインストールされていません。または、ユーザーのデバイスから削除されました。インストールできません：アプリはユーザーのデバイスでサポートされていません。 • サポート対象外：デバイスの OS はこのアプリをサポートしていません。 <p>UEM はアプリがデバイスにまだインストールされているかどうかを確認できないので、未確認のインストールには、ユーザーのプライバシー アクティベーションタイプの iOS デバイスでのインストールが含まれません。</p>



アプリグループの管理

アプリグループを使用して、ユーザー、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てることのできるアプリの集合体を作成できます。アプリをグループ化すると、組織内のデバイス全体でアプリを効率的かつ一貫して管理できます。たとえば、アプリグループを使用して、複数のデバイスタイプ向けに同じアプリのグループを割り当てたり、組織内の同じロールのユーザー向けにアプリをグループ化したりできます。

BlackBerry UEM では、「仕事用プロファイルを含む Android デバイスのおすすめのアプリ」や「BlackBerry Productivity Suite」という名前でアプリグループが既に設定されています。

アプリグループの作成

作業を始める前に：アプリをアプリリストに追加します。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] > [アプリグループ] をクリックします。
2.  をクリックします。
3. アプリグループの名前と説明を入力します。
4.  をクリックします。
5. グループに追加するアプリを検索して選択します。
 - a) iOS および Android アプリの場合、使用可能なアプリ設定がある場合は、各アプリに [アプリ設定] を選択できます。
 - b) Android Enterprise を使用していて、Google Play コンソールでアプリのトラックを作成してある場合は、[トラック] を選択してアプリケーションに割り当てます。
6. [追加] をクリックします。
7. iOS アプリを追加する場合は、次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
VPP アカウントを追加していない場合	[追加] をクリックします。

タスク	手順
1 つ以上の VPP アカウントを追加している場合	<p>a. [追加] をクリックします。</p> <p>b. iOS アプリにライセンスを割り当てる場合は、[はい] を選択します。ライセンスを割り当てない場合、または、アプリに割り当てるライセンスがない場合には、[いいえ] を選択します。</p> <p>c. アプリにライセンスを割り当てる場合には、[アプリライセンス] ドロップダウンリストで、アプリに関連付ける VPP アカウントを選択します。</p> <p>d. [ライセンスの割り当て先] ドロップダウンリストで、ライセンスを [ユーザー] または [デバイス] に割り当てます。[アプリライセンス] ドロップダウンリストが指定されていない場合、[ライセンスの割り当て先] ドロップダウンリストは使用できません。</p> <p>e. [追加] をクリックし、もう一度 [追加] をクリックします。</p> <p>支払い済みのアプリをインストールするには、ユーザーはデバイスで手順に従って組織の VPP に登録する必要があります。一度はこのタスクを完了する必要があります。</p> <p>メモ：使用可能な数より多くのライセンスにアクセスを付与した場合は、使用可能なライセンスにアクセスしている最初のユーザーがアプリをインストールできます。</p>

8. もう一度 [追加] をクリックします。

終了したら：アプリグループを編集する場合は、編集するアプリグループをクリックし、変更を保存します。


アプリリストの更新

アプリリストを更新して、アプリリスト内の iOS、Windows 10、および BlackBerry Dynamics アプリに関する最新情報を確認できます。Android Enterprise デバイスをサポートするように BlackBerry UEM を設定している場合は、Android アプリも更新されます。

次の要件に注意してください。


- Android Enterprise のサポートを設定する前、または設定の変更前に Android アプリを追加した場合、アプリ情報を更新して、Android Enterprise デバイスでこれらを利用できるようにする必要があります。
- Android Enterprise のサポートを設定していない場合は、Google Play アプリの情報を手動で更新する必要があります。
- iOS アプリのアプリ情報を自動的に更新するように Apple VPP アカウントを設定した場合は、アプリリストのアプリを更新する必要があります。

アプリ情報を更新しても、ユーザーのデバイスのアプリが更新されるわけではありません。ユーザーは、個人用アプリの更新通知を受信するのと同じ方法で、仕事用アプリの更新通知を受信します。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2.  をクリックします。

アプリリストからのアプリの削除

アプリリストからアプリを削除すると、そのアプリは割り当てられていたユーザーまたはグループから割り当て解除され、それ以降、デバイスの仕事用アプリケーションカタログには表示されません。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2. アプリリストから削除するアプリの横にあるチェックボックスをオンにします。
3.  をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

アプリを必須にするかオプションにするかの変更

アプリを必須にするかオプションにするかを変更できます。アプリを必須またはオプションに設定したときに実行される操作は、アプリ、デバイス、アクティベーションなどのタイプによって異なります。

1. 管理コンソールで、次のいずれかを実行します。
 - a) ユーザーに割り当てられたアプリの処理を変更する場合は、メニューバーで [ユーザー] をクリックします。
 - b) グループに割り当てられたアプリの処理を変更する場合は、メニューバーで [グループ] をクリックします。
2. ユーザーまたはグループの名前を検索してクリックします。
3. [アプリ] または [割り当てられたアプリ] セクションで、該当するアプリの [種別] をクリックします。
4. [種別] ドロップダウンリストで、適切なオプションを選択します。
5. [保存] をクリックします。

新規アプリおよび更新アプリに関するデバイス通知

管理者が新しいアプリを割り当てるか、内部アプリに対する更新が利用可能になると、ほとんどの場合、ユーザーはデバイスで通知を受信します。デバイス通知の他にも、BlackBerry UEM Client または「仕事用アプリ」アプリでは、新規アプリや更新済みアプリが、アプリカタログの [新規] リストに表示されます。

アプリ（必須およびオプション）は、次の状況で [新規] リストに表示されます。

- アプリがユーザーに割り当てられ、そのアプリがまだデバイスにインストールされていない状況
- アプリがユーザーに割り当てられ、自動的にインストールされる状況
- インストール済みのアプリに対して更新が利用可能になっている状況
- ユーザーが BlackBerry Access をデバイスにインストール済みの状況
- 「機能 - BlackBerry App Store」の使用資格がユーザーに割り当てられている状況

[新規] リストにアプリが残っている場合、BlackBerry UEM は通知をデバイスに定期的に再送信します。

アプリの [新規] リストで、ユーザーが新規アプリをクリックしてアプリの詳細を表示した場合、ユーザーがアプリをインストールしたかどうかに関係なく、そのアプリは [新規] リストから削除されます。更新が利用可能なアプリをユーザーがクリックした場合は、更新がインストールされるまで、アプリはリストに残されます。

BlackBerry Dynamics アプリの管理

組織で BlackBerry Dynamics アプリを使用する場合、BlackBerry Dynamics アプリのみに適用される接続設定やその他のオプションを設定する必要があります。

BlackBerry Dynamics アプリのネットワーク通信とプロパティの設定の詳細については、設定関連の資料で「[BlackBerry Dynamics アプリのネットワーク通信とプロパティの設定](#)」を参照してください。

組織で BlackBerry Dynamics アプリを使用するには、次のアクションを実行します。

手順	アクション
1	BlackBerry Dynamics の接続設定を確認し、必要に応じて変更します。
2	BlackBerry Dynamics プロファイルを作成するか、デフォルトの BlackBerry Dynamics プロファイルを更新します。
3	BlackBerry Dynamics アプリを BlackBerry UEM に追加します。 <ul style="list-style-type: none">• アプリリストへの一般の BlackBerry Dynamics アプリの追加• 内部 BlackBerry Dynamics アプリの権限の追加
4	必要に応じて、BlackBerry Dynamics アプリの設定を変更します。
5	BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加。
6	BlackBerry Dynamics プロファイルおよび BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをユーザーアカウントおよびグループに割り当てます。
7	BlackBerry Dynamics アプリをユーザーアカウントおよびグループに割り当てます。
8	UEM Client なしでデバイス上の BlackBerry Dynamics アプリをアクティベーションするユーザーは、アプリのアクセスキー、アクティベーションパスワードおよび QR Code を生成します。

BlackBerry Dynamics アプリのネットワーク接続の設定

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルは、ネットワーク接続、インターネットドメイン、IP アドレス範囲、および BlackBerry Dynamics アプリが接続できるアプリサーバーを定義します。BlackBerry UEM には、既定の設定を含む、デフォルトの BlackBerry Dynamics 接続プロファイルがあります。BlackBerry Dynamics 接続プロファイルが、ユーザーアカウントまたはユーザーが属するユーザーグループに割り当てられていない場合、デフォルトのプロファイルがユーザーのデバイスに送信されます。

ユーザーがデバイスをアクティブ化したとき、ユーザーが割り当てられた BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを更新したとき、または異なる BlackBerry Dynamics 接続プロファイルがユーザーアカウントかデバイスに割り当てられたとき、UEM は BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをデバイスに自動的に送信します。

次のオプションを使用すると、管理者が BlackBerry Dynamics トラフィックのルーティング方法を制御できます。

- BlackBerry Dynamics 接続プロファイル
- BlackBerry Proxy Web プロキシサーバーの設定
- アプリ固有の設定（BlackBerry Access Web プロキシサーバーの設定など）


ルーティングを設定する前に、BlackBerry Proxy サーバーがインストールされていること、正しいポートが開いていること、および BlackBerry Dynamics NOC サーバーから BlackBerry Proxy サーバーへのネットワーク接続があることを確認してください。BlackBerry Proxy を BlackBerry UEM Cloud 環境で使用するには、オンプレミス BlackBerry Connectivity Node をインストールする必要があります。

詳細については、次を確認してください。

- [プランニングコンテンツのポート要件](#)
- [設定関連の資料での BlackBerry Dynamics アプリのネットワーク通信とプロパティの設定](#)
 - [設定関連の資料での HTTP プロキシを介した BlackBerry Dynamics アプリデータの送信](#)。
 - [設定関連の資料での BlackBerry Dynamics アプリのトラフィックを設定コンテンツにルーティングする方法](#)

本ドキュメントでは、ルーティング全体に影響する設定のみについて説明します。アプリで特定のサーバーに接続するには（Microsoft Exchange Server の URL を使用して設定された BlackBerry Work など）、アプリケーション固有の設定が必要な場合があります。各 BlackBerry Dynamics アプリの管理ドキュメントを確認して、どのアプリ設定を適用するかを理解してください。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの作成

1. メニューバーで [ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [ネットワークと接続] > [BlackBerry Dynamics の接続] をクリックします。
3. + をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. 以前にエクスポートした BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定を .csv ファイルに再利用したい場合は、 をクリックして設定をインポートします。
6. プロファイル設定のために適切な値を設定します。各プロファイル設定の詳細については、「[BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定](#)」を参照してください。
7. BlackBerry Dynamics アプリのアプリサーバーを追加するには「[BlackBerry Dynamics 接続プロファイルへのアプリサーバーの追加](#)」を参照してください。
8. [保存] をクリックします。

終了したら：必要に応じて、プロファイルをランク付けします。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルは、以下のデバイスタイプでサポートされています。

- iOS
- macOS
- Android

• Windows

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
名前	BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの名前を指定します。
説明	BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの説明を指定します。
インフラストラクチャ	
全トラフィックをルーティングする	<p>6.0 より前のバージョンの BlackBerry Dynamics SDK で開発されたアプリの場合、この設定では、すべての BlackBerry Dynamics アプリデータが BlackBerry Proxy を経由してルーティングされるかどうかを指定します。このオプションは、プロファイル内の他の設定よりも優先されます。[全トラフィックをルーティングする]を選択した場合、ルーティングする BlackBerry Proxy クラスタを指定することも、[拒否]を選択してすべての接続をブロックすることもできます。</p> <p>BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降で開発されたアプリの場合、この設定は [デフォルトの許可されたドメインルートタイプ] に置き換えられます。</p> <p>このオプションを選択するのは、組織で BlackBerry Dynamics SDK 6.0 より前のバージョンで開発されたカスタムアプリケーションまたは ISV アプリケーションを使用している場合のみです。BlackBerry がリリースした BlackBerry Dynamics アプリの最新バージョンは、SDK 6.0 より後のバージョンを使用します。</p> <p>この設定は、BlackBerry UEM Cloud には含まれません。</p>
許可されたドメイン	<p>組織がアクセスを制御するインターネットドメインのリスト。たとえば、blackberry.com は、blackberry.com ドメイン内のあらゆるサーバーへのアクセスを制御します。BlackBerry Dynamics アプリは、組織のファイアウォールを経由して、リストされているドメインおよびサブドメイン内のあらゆるサーバーに接続できます。</p> <p>BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降を実行している BlackBerry Dynamics アプリの場合、[デフォルトの許可されたドメインルートタイプ] は、プロファイルで指定されていないすべてのドメインに適用されます。</p> <p>許可されたドメインのリストに新しいドメインを追加するには、+ をクリックして、ドメインの設定を行います。リストからドメインを削除するには、削除するドメインの横の X をクリックします。</p>
ドメイン	<p>アクセスを許可または拒否するインターネットドメインを指定します。たとえば、blackberry.com では、blackberry.com ドメイン内のあらゆるサーバーにアクセスできます。BlackBerry Dynamics アプリは、組織のファイアウォールを経由して、リストされているドメインおよびサブドメイン内のあらゆるサーバーに接続できます。</p>
BlackBerry Proxy クラスタ	ドメインに到達するために使用する必要がある BlackBerry Proxy クラスタを指定するには、このオプションを選択します。


BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
直接	このオプションを選択すると、BlackBerry Proxy を経由せずにトラフィックがアプリからドメインに直接ルーティングされます。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK 6.0 以降のバージョンで開発されたアプリでのみサポートされません。
拒否	このオプションを選択すると、アプリがドメインに接続できなくなります。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降で開発されたアプリでサポートされます。
プライマリ	ドメインへの接続にアプリが使用するプライマリルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
セカンダリ	プライマリクラスターがダウンしている場合、アプリがドメインへの接続に使用するバックアップルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
デフォルトドメイン	<p>デフォルトで許可されているドメインのリスト (qa.blackberry.com など)。BlackBerry Dynamics アプリは、portal.sales.xyzcorp.com のような完全修飾名ではなく、portal のような修飾がないホスト名に接続しようとする場合があります。完全修飾名を形成するために、このリストのドメインは、修飾がないホスト名に追加されます。</p> <p>デフォルトドメインのリストに新しいドメインを追加するには、+ をクリックして、ドメインの設定を行います。リストからドメインを削除するには、削除するドメインの横の X をクリックします。</p>
ドメイン	デフォルトドメインのリストに追加するドメインを指定します。
プライマリ	ドメインへの接続にアプリが使用するプライマリルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
セカンダリ	プライマリクラスターがダウンしている場合、アプリがドメインへの接続に使用するバックアップルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
その他のサーバー	<p>BlackBerry Dynamics アプリが接続できる追加サーバーのリスト。BlackBerry Dynamics アプリの接続先が、ドメイン内のすべてのサーバーではなく、特定のサーバーに限られる場合は、このリストに目的のサーバーを追加します。</p> <p>追加サーバーのリストに新しいサーバーを追加するには、+ をクリックして、サーバーの設定を行います。リストからサーバーを削除するには、削除するサーバーの横の X をクリックします。</p>

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
サーバー	BlackBerry Dynamics アプリが接続できるその他のサーバーの完全修飾ドメイン名を指定します。BlackBerry Dynamics アプリが、ドメイン内のすべてのサーバーではなく、特定のサーバーにのみ接続できるようにする場合は、[許可されたドメイン] リストを使用するのではなく、このリストに目的のサーバーを追加します。このセクションに記載されているサーバー、ルーティングタイプ、および BlackBerry Proxy クラスターは、[許可されたドメイン] セクションに記載されているエントリよりも優先されます。
ポート	サーバーが使用するポートを指定します。
BlackBerry Proxy クラスター	ドメインに到達するために使用する必要がある BlackBerry Proxy クラスターを指定するには、このオプションを選択します。
直接	このオプションを選択すると、BlackBerry Proxy を経由せずにトラフィックがアプリからサーバーにルーティングされます。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK 6.0 以降のバージョンで開発されたアプリでのみサポートされます。
拒否	このオプションを選択すると、アプリがサーバーに接続できなくなります。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降で開発されたアプリでサポートされます。
プライマリ	サーバーへの接続にアプリが使用するプライマリルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
セカンダリ	プライマリクラスターがダウンしている場合、アプリがドメインへの接続に使用するバックアップルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
IP アドレスの範囲	BlackBerry Dynamics アプリがホスト名ではなく IP アドレスを使用して接続要求を行ったときにアクセスできる IP アドレスの範囲のリスト。 新しい IP アドレスの範囲をリストに追加するには、+ をクリックして、設定を行います。リストから IP アドレスの範囲を削除するには、削除する範囲の横の X をクリックします。
範囲	BlackBerry Dynamics アプリがホスト名ではなく IP アドレスを使用して接続要求を行ったときにアクセスできる IP アドレスの範囲を指定します。アドレス範囲は、下限と上限のアドレス（例：192.168.2.0-192.168.2.255）または IPv4 CIDR 表記（例：192.168.2.0/24）で入力する必要があります。例： <ul style="list-style-type: none"> • 個別アドレスの例：192.168.2.0-192.168.2.255 • サブネット全体の例：192.168.2.0/24
BlackBerry Proxy クラスター	IP アドレスの範囲に到達するために使用する必要がある BlackBerry Proxy クラスターを指定するには、このオプションを選択します。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定	説明
直接	このオプションを選択すると、BlackBerry Proxy を経由せずにトラフィックがアプリから IP アドレスの範囲に直接ルーティングされます。このオプションは、BlackBerry Dynamics SKD 6.0 以降のバージョンで開発されたアプリでのみサポートされています。
拒否	このオプションを選択すると、アプリが IP アドレスの範囲に接続できなくなります。このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK バージョン 6.0 以降で開発されたアプリでサポートされます。
プライマリ	IP アドレスの範囲への接続にアプリが使用するプライマリルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
セカンダリ	プライマリクラスターがダウンしている場合、アプリが IP アドレスの範囲への接続に使用するバックアップルートとして使用する BlackBerry Proxy クラスターの名前をドロップダウンリストから選択します。
アプリサーバー	
追加	<p>アプリサーバーまたは Web サーバーからサービスを受けている 1 つ以上の BlackBerry Dynamics アプリがある場合、サーバーの名前とポート、通信に使用する BlackBerry Proxy クラスターの優先度を指定できます。また、アプリサーバーの優先度をプライマリ、セカンダリ、またはターシャリとしてクライアントアプリに設定することもできます。アプリサーバーまたは Web サーバーが提供するすべての BlackBerry Dynamics アプリは、指定した接続設定を使用できます。</p> <p>環境に BlackBerry UEM Cloud および BEMS クラウドがあり、さらに BEMS テナントを作成するようにメール通知または BEMS-Docs を設定した場合、BEMS クラウドの URL、ポート番号、および優先度が [アプリサーバーのペイロード] セクションに自動的に追加されます。</p> <p>詳細については、「BlackBerry Dynamics 接続プロファイルへのアプリサーバーの追加」を参照してください。</p>

BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定のエクスポート

同じような設定で追加のプロファイルを作成する必要がある場合に、BlackBerry Dynamics 接続プロファイル設定を .csv ファイルにエクスポートできます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [ネットワークと接続] > [BlackBerry Dynamics の接続] をクリックします。
3. エクスポートするプロファイルの名前をクリックします。
4.  をクリックします。
5. 変更を保存せずにプロファイルを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

BlackBerry Dynamics 接続プロファイルへのアプリサーバーの追加

アプリサーバーまたは Web サーバーからサービスを受けている BlackBerry Dynamics アプリがある場合、サーバーの名前、通信に使用する BlackBerry Proxy クラスターの優先度を指定できます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [ネットワークと接続] > [BlackBerry Dynamics の接続] をクリックします。
3. アプリサーバーを追加する BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをクリックします。
4. ✎ をクリックします。
5. [アプリサーバー] の下で [追加] をクリックします。
6. アプリサーバーを追加する BlackBerry Dynamics アプリを選択します。
7. [保存] をクリックします。
8. アプリの表で + をクリックします。
9. [サーバー] フィールドで、アプリサーバーの FQDN を指定します。
10. [ポート] フィールドで、アプリサーバーの待機ポートを入力します。
11. [優先順位] ドロップダウンリストで、アプリまたはアプリの権限の優先度を指定します。たとえば、2台の BlackBerry Enterprise Mobility Server サーバーがあり、最初にすべての接続が BEMS 1 に行くようにする場合、BEMS 1 エントリを優先順位プライマリとして指定します。その後、BEMS 2 が常にセカンダリであることを指定できます。
12. [ルートタイプ] を選択します。
13. [プライマリ] ドロップダウンリストで、プライマリクラスターとして設定する BlackBerry Proxy クラスターの名前を指定します。
14. [セカンダリ] ドロップダウンリストで、セカンダリクラスターとして設定する BlackBerry Proxy クラスターの名前を指定します。
15. [保存] をクリックします。

ユーザーデバイスでの BlackBerry Dynamics の制御

BlackBerry Dynamics プロファイルはユーザーに対して BlackBerry Dynamics を有効にし、BlackBerry Dynamics アプリアクセス、データ保護、およびロギングの標準を設定します。

BlackBerry UEM には、既定の設定を含む、デフォルトの BlackBerry Dynamics プロファイルがあります。BlackBerry Dynamics プロファイルがユーザーアカウントまたはユーザーが属するユーザーグループ、またはユーザーのデバイスが属するデバイスグループに割り当てられていない場合、デフォルトのプロファイルはユーザーのデバイスに送信されます。

ユーザーがデバイスをアクティブ化したとき、ユーザーが割り当てられた BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを更新したとき、または異なる BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをユーザーアカウントかデバイスに割り当てたときに、UEM は BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをデバイスに自動的に送信します。

BlackBerry Dynamics プロファイルの作成

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [ポリシー] > [BlackBerry Dynamics] をクリックします。
3. + をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。

5. プロファイル設定のために適切な値を設定します。各プロファイル設定の詳細については、「[BlackBerry Dynamics プロファイル設定](#)」を参照してください。
6. [追加] をクリックします。

終了したら：必要に応じて、プロファイルをランク付けします。

BlackBerry Dynamics プロファイル設定

BlackBerry Dynamics プロファイルは、以下のデバイスタイプでサポートされています。

- iOS
- macOS
- Android
- Windows

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
設定	
BlackBerry Dynamics アプリの使用時にデバイス管理を要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリを使用するために、デバイスを MDM でアクティベーションする必要があるかどうかを指定します。
BlackBerry Dynamics に登録する UEM Client を有効にする	デバイスで BlackBerry UEM Client を使用する場合、この設定では、BlackBerry Dynamics で BlackBerry Dynamics アプリのアクティベーションを管理するかどうか、デバイスで BlackBerry Dynamics アプリを使用できるかどうかを指定します。このオプションを選択しないと、BlackBerry Dynamics に対してデバイスが有効にならないため、BlackBerry Dynamics アプリがデバイスから削除される可能性があります。環境で BlackBerry Dynamics を使用する予定がない場合は、この設定を選択しないでください。
UEM Client における BlackBerry Dynamics Launcher の有効化	この設定では、UEM Client で BlackBerry Dynamics Launcher アイコンを表示するかどうかを指定します。
BlackBerry Dynamics Launcher の初回セットアップの有効化	BlackBerry Dynamics Launcher が UEM Client で有効になっていて、初めて表示されるときに、この設定でチュートリアルを表示するかどうかを指定します。

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
認証ブローカーインストール後の条件付きアクセス登録の開始	<p>Entra ID 条件付きアクセスを設定する場合は、この設定を有効にして、Microsoft Authenticator アプリがデバイスにインストールされるまで条件付きアクセスの登録プロセスを遅らせることができます。この設定はデフォルトでオフになっています。</p> <p>有効にすると、Microsoft Authenticator アプリがインストールされた後、ユーザーが UEM Client を開いたときに条件付きアクセスの登録プロセスが開始されます。Android デバイスでは、仕事用プロファイルがロック解除されている場合、UEM Client を開いて条件付きアクセスの登録を開始するよう、UEM Client がユーザーに求めます。</p> <p>このオプションは、ユーザープライバシーアクティベーションタイプを持つ Android デバイスには適用されません（Android Enterprise ユーザープライバシーおよび Android Management ユーザープライバシーには適用されます）。ユーザープライバシーデバイスでは、条件付きアクセスの登録は、デバイスが UEM でアクティブ化された後、常に開始されます。</p>
パスワード	
パスワードの有効期限	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに有効期限を設定するかどうかを指定し、さらにパスワードの有効期間を日数で指定します。
以前のパスワードを許可しない	この設定では、以前のパスワードを使用できるかどうかを指定し、さらに BlackBerry Dynamics アプリに使用できない以前のパスワードの最大数を指定します。
パスワードの最小文字数	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードの最小長を指定します。
文字のオカレンスを許可する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードで同じ文字を使用できる回数を指定します。
文字と数字の両方を要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに文字と数字の両方を含める必要があるかどうかを指定します。
大文字と小文字の両方を要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに大文字と小文字の両方を含める必要があるかどうかを指定します。
1 文字以上の特殊文字を要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに 1 文字以上の特殊文字を含める必要があるかどうかを指定します。
2 桁を超える連番を許可しない	この設定では、2 桁を超えた連番（例：1、2、3）を BlackBerry Dynamics アプリのパスワードで使用できるかどうかを指定します。
1 日に複数回のパスワード変更を許可しない	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードを 24 時間以内に複数回変更できるかどうかを指定します。

BlackBerry Dynamics プ ロファイル設定	説明
個人情報許可しない	<p>この設定では、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードに以下の個人情報を使用できるかどうかを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> Active Directory に記録されているユーザーの姓名（イニシャルを除く） メールアドレスで @ 記号の前の指定する部分
生体認証を許可する	<p>この設定では、iOS デバイスのアプリ切り替え機能で既にアプリが開いているときに、バイOMETリック入力を使用して BlackBerry Dynamics アプリをロック解除できるかどうかを指定します。</p>
コールドスタートから Touch ID および Face ID を有効にする	<p>この設定では、デバイスの再起動後、初めてアプリを起動する際に、選択されたバイOMETリック入力方式を使用して BlackBerry Dynamics アプリをロック解除できるかどうかを指定します。</p>
生体認証に失敗した場合 にデバイスパスワードへの フォールバックを許可 する	<p>このオプションを使用すると、生体認証が失敗した場合に、iOS 生体認証（TouchID/FaceID）をデバイスパスワードにフォールバックできます。</p>
パスワード再入力を要 求し、Touch ID および Face ID を無効にする	<p>この設定では、一定の期間を指定します。この期間を過ぎると、BlackBerry Dynamics アプリのロックを解除し、Touch ID、Face ID、またはその両方を再び有効にする際に、パスワードの入力が必要になります。</p>
Android の生体認証を許 可する	<p>この設定では、デバイスがサポートする任意の生体認証方式を使用して BlackBerry Dynamics アプリをロック解除できるかどうかを指定します。このオプションが選択されていない場合、指紋、虹彩、顔認識など、Android のすべての生体認証機能がブロックされます。</p>
デバイスまたはアプリの 再起動後に Android の生 体認証を有効にする	<p>この設定では、デバイスの再起動後、初めてアプリを起動する際に、生体認証方式を使用して BlackBerry Dynamics アプリをロック解除できるかどうかを指定します。</p>
パスワードを再入力 し、Android の生体認証 を無効にする必要がある	<p>この設定では、一定の期間を指定します。この期間を過ぎると、BlackBerry Dynamics アプリのロックを解除し、Android の生体認証を再び有効にする際に、パスワードの入力が必要になります。</p>
パスワードを要求しない	<p>これらの設定では、パスワードの入力なしでユーザーが BlackBerry Dynamics アプリにアクセスできるかどうかを指定します。</p>
ブロックされるパスワードのリスト	
ブロックされるパスワー ドのファイル (.txt)	<p>この設定では、禁止されたパスワードのリストを指定します。以前にアップロードされた禁止パスワードのリストをダウンロードできます。このリストのパスワードは、次の要件を満たしている必要があります。各パスワードは、強制改行で区切る必要があります。UTF-8 の文字のみがサポートされます。パスワードは 14 文字以内にする必要があります。</p>

BlackBerry Dynamics プ ロファイル設定	説明
ロック画面	
BlackBerry Dynamics ア プリの起動時にパスワー ドを要求する	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリを起動するたびにパスワードを要求するかどうかを指定します。認証委任機能を使用している場合は、このオプションを選択しないでください。
一定時間アクティビティ がなかった場合にパス ワードを要求する	この設定では、アクティビティがない状態が続いて、パスワードが要求されるようになるまでの時間を指定します。
無効なパスワードの入力 に対応する	この設定では、パスワードを間違えて入力できる回数を制限するかどうかを指定します。このルールを選択した場合は、ユーザーが間違ったパスワードを入力できる回数、および制限に達した後の操作を指定します。
ウェアラブル	
WatchOS アプリを許可 する	この設定では、エンドユーザーは自分の Apple WatchOS アプリを自分の iOS デバイス上の対応 BlackBerry Dynamics アプリとペアリングできます。
ウェアラブルを許可する	<p>メモ：この設定は、UEM バージョン 12.19 以降、廃止されました。</p> <p>この設定では、Android ウェアラブルデバイスで BlackBerry Dynamics アプリを使用できるかどうかを指定します。このルールを選択した場合、ウェアラブルデバイスを切断するまでの経過時間を指定し、ウェアラブルを自動的に再接続できるかどうかを指定します。</p>
アプリ認証委任 (iOS および Android のみ)	

アプリ

他の BlackBerry Dynamics アプリの代わりに認証委任として動作する BlackBerry Dynamics アプリを指定できるため、ユーザーはインストールする BlackBerry Dynamics アプリごとにパスワードを作成する必要はありません。認証委任が設定されている場合、BlackBerry Dynamics アプリを起動しようとする、起動するアプリではなく、認証委任のパスワード画面がデバイスに表示します。認証委任のパスワードを入力すると、BlackBerry Dynamics アプリを起動できます。

他のアプリの認証を委任にするために、任意のアプリを選択できます。ただし、最もシームレスな操作環境を実現するには、認証委任のプライマリアプリとして、最もよく使用しているアプリを選択することをお勧めします。

認証委任を1つだけ設定することを推奨します。これにより、不必要に複雑で望ましくない認証委任の切り替えが回避され、管理業務が簡略化されます。ユーザーが誤って認証委任を削除した場合は、再インストールする必要があります。たとえば、プライマリの認証委任が特定のプラットフォームに存在せず、代替の委任が設定されている場合など、複数の認証委任が必要な場合は、次の推奨事項を参照して BlackBerry Dynamics アプリが問題なくインストールされてアクティベートされていることを確認してください。

- ユーザーは必ずプライマリの認証委任を最初にインストールし、すでにインストールされている代替の認証委任アプリを使用してアクティブ化しないでください。
- ユーザーがすでに代替の認証委任をインストールして使用しており、後でプライマリの認証委任をインストールした場合は、インストールされている既存の認証委任がロック解除状態であることを確認して、認証を正常に完了する必要があります。代替認証委任が強制的に閉じられている場合、ユーザーにはさまざまなエラーが表示されて、ブロックされる可能性があります。
- ユーザーは、プライマリの認証委任をインストールした後で、現在インストールされている認証委任を削除しないでください。現在その認証委任を使用しているアプリは、次回オンラインモードでアプリを起動したときに、自動的に新しい認証委任に切り替える必要があります。
- プライマリの認証委任が削除された場合、ユーザーはアクセスキーを使用して認証委任を再アクティブ化する必要があります。他のアプリで認証委任をアクティブ化しようすると、さまざまなエラーが発生する可能性があります。
- [認証を委任するアプリケーションが検出されない場合に自己認証を許可する] オプションが選択されている場合や、セカンダリまたはターシャリ認証委任として指定されているアプリがインストールされている場合でも、元の認証委任をインストールしてロック解除せずにアプリが認証委任を変更できるようにするフォールバックメカニズムはありません。
- 認証委任がデバイスにインストールされていない場合に、ユーザーによるアプリの認証を許可するには、[認証を委任するアプリケーションが検出されない場合に自己認証を許可する] オプションを選択します。

データ漏洩防止

BlackBerry Dynamics プロファイル設定	説明
BlackBerry Dynamics アプリから BlackBerry Dynamics 以外のアプリへのデータコピーを許可しない	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリから BlackBerry Dynamics 以外のアプリにデータをコピーできるかどうかを指定します。
BlackBerry Dynamics 以外のアプリから BlackBerry Dynamics アプリへのデータコピーを許可しない	この設定では、BlackBerry Dynamics 以外のアプリから BlackBerry Dynamics アプリにデータをコピーできるかどうかを指定します。 メモ：Purebred などのアプリベースの PKI ソリューションを使用している場合は、このオプションは選択しないでください。
Android のディクテーションを許可しない	この設定では、Android デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリで音声ディクテーションを使用できるかどうかを指定します。この設定は、アプリケーション固有の音声ディクテーションの使用に適用され、キーボードには適用されない場合があります。キーボードでは、他のチャンネルを介したディクテーションが許可される場合があります。キーボードでのディクテーションを無効にするには、[Android キーボード制限モードの有効化] も選択する必要があります。
Android および Windows 10 デバイスで画面キャプチャと安全でないビデオ出力を許可しない	この設定では、Android および Windows 10 デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリで画面をキャプチャして安全ではないビデオを記録できるかどうかを指定します。
iOS デバイスではスクリーンショットを許可しない	この設定では、ユーザーが iOS デバイスの BlackBerry Dynamics アプリでスクリーンショットを撮影できるかどうかを指定します。この設定を有効にした場合、デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリでスクリーンショットを撮影すると、代わりに「このアプリでのスクリーンショットの撮影は、組織によって禁止されています」というメッセージを含む空白の画像が保存されます。 このオプションは、BlackBerry Dynamics SDK 12.1 以降を使用する BlackBerry Dynamics アプリでサポートされており、コンプライアンスプロファイルの iOS 画面キャプチャの検出ルールを置き換えます。BlackBerry では、このプロファイル設定を使用し、iOS 画面キャプチャのコンプライアンスルールを無効にすることをお勧めします。コンプライアンスルールは、将来の UEM リリースで廃止されます。
iOS デバイスでは画面の記録と共有を許可しない	この設定では、iOS デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリで画面の共有や記録を実行できるかどうかを指定します。
iOS のディクテーションを許可しない	この設定では、iOS デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリで音声ディクテーションを使用できるかどうかを指定します。この設定はシステムキーボードにのみ適用され、サードパーティのキーボードには適用されません。
カスタムキーボードを許可しない	

BlackBerry Dynamics プ ロファイル設定	説明
iOS	この設定では、iOS デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリでカスタムキーボードを使用できるかどうかを指定します。
Android	この設定では、Android デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリでカスタムキーボードを使用できるかどうかを指定します。
Android キーボード制限 モードの有効化	この設定では、Android デバイスユーザーが BlackBerry Dynamics アプリでカスタムキーボードを使用できるかどうかを指定します。
FIPS を有効にする	<p>この設定では、U.S.Federal Information Processing Standard 140-2（米国連邦情報処理規格 140-2）への準拠を強制するかどうかを指定します。</p> <p>米国連邦情報処理規格（FIPS）は、コンピューティングおよびコンピューティングセキュリティに関する米国政府の規制です。FIPS 準拠を有効にすると、関連するアプリケーションに大きな影響が及びます。FIPS 準拠を有効にすると、FIPS に準拠して次の制約が強制されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MD4 および MD5 は FIPS で禁止されているため、NTLM または NTLM2 で保護された Web ページおよびファイルへのアクセスはブロックされます。 • ラップされたアプリケーションはブロックされます。 • 十分な長さの Diffie-Hellman キーを使用するように設定されていないサーバーでの、一時キーとのセキュアソケットキー交換では、BlackBerry Dynamics は、静的 RSA 暗号スイートを使用して再試行します。
証明書	
信頼済み認証局	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリがデバイス証明書ストアから証明書を取得できるかどうかを指定します。
詳細ログの記録	
BlackBerry Dynamics ア プリで詳細ログの記録を 有効にする	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリからログファイルを生成し、アップロードできるかどうかを指定します。
BlackBerry Dynamics ア プリでの詳細ログの記録 をユーザーがオンにでき ないようにする	この設定では、BlackBerry Dynamics アプリから詳細なログファイルを生成して共有する機能を、ユーザーがオンにできるかどうかを指定します。
使用許諾契約書	

BlackBerry Dynamics プ ロファイル設定	説明
BlackBerry Dynamics ア プリの使用許諾契約書の メッセージを有効にする	<p>この設定では、ユーザーが確認する必要があるメッセージを BlackBerry Dynamics アプリ内で表示するかどうかを指定します。認証の委任が有効になっている場合、メッセージは認証プログラムアプリにのみ表示されます。このルールを選択した場合は、次のアクションを完了します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリをロック解除するたびにメッセージを表示するかどうかを選択します。毎回の表示を選択しない場合、ユーザーがアプリを起動した最初の時にのみメッセージが表示されます。 • [メッセージ] フィールドで、表示するメッセージを作成します。Android デバイスでは、最初の 4000 文字のみが表示されます。

UEM でのデバイスコマンドの BlackBerry Dynamics アプリへの送信

デバイスに BlackBerry Dynamics アプリがインストールされている場合、アプリでアクションを実行できます。たとえば、ユーザーがデバイスを紛失した場合にアプリデータを削除できます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ユーザー] をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. 管理するアプリがインストールされているデバイスの [デバイス] タブを選択します。
5. [BlackBerry Dynamics アプリ] セクションを展開します。
6. デバイスコマンドを送信する BlackBerry Dynamics アプリの行を探します。
7. [アプリアクション] 列の 3 つの点をクリックして、次のいずれかのアクションを実行します。

タスク	説明
アプリをロックします。	BlackBerry Dynamics アプリをロックします。これは、ユーザーがデバイスを紛失したが、回復する可能性がある場合に便利です。アプリにはアクセスできませんが、アプリデータは削除されません。
アプリのロックを解除します。	BlackBerry Dynamics アプリのロックを解除します。ユーザーは、アプリおよびアプリデータへのアクセス権を回復します。
アプリデータを削除します。	BlackBerry Dynamics アプリのすべてのデータを削除し、アプリを使用不可にします。アプリデータは回復できません。これは、ユーザーがデバイスを紛失して回復できない場合に便利です。
ロギングをオンにします。	アプリのロギングをオンにします。ロギングはデバッグレベルに設定されます。
ロギングをオフにします。	アプリのロギングをオフにします。
ログファイルをアップロードします。	デバイスから BlackBerry Dynamics NOC にアプリログをアップロードします。

タスク	説明
アプリイベントを取得します。	コンプライアンスおよびその他のアプリケーションイベントに関する詳細情報を表示します。
アプリの詳細	コンテナ ID を含むアプリの詳細情報を表示します。

BlackBerry Dynamics アプリの設定の管理

アプリの構成、サーバーの構成、およびアプリ設定を管理できます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2. 変更する BlackBerry Dynamics アプリをクリックします。
3. [設定] > [BlackBerry Dynamics] タブで、次のタスクを実行します。

タスク	手順
アプリの BlackBerry Dynamics プロファイルを指定する。	ユーザーに割り当てられている BlackBerry Dynamics プロファイルの代わりに特定の BlackBerry Dynamics プロファイルをアプリで使用する場合は、[BlackBerry Dynamics プロファイルを上書きする] ドロップダウンリストからプロファイルを選択します。
アプリのコンプライアンスプロファイルを指定する。	ユーザーに割り当てられているコンプライアンスプロファイルではなく、特定のコンプライアンスプロファイルをアプリで使用する場合は、[コンプライアンスプロファイルを上書きする] ドロップダウンリストからプロファイルを選択します。
アプリの BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを指定します。	ユーザーに割り当てられている BlackBerry Dynamics 接続プロファイルの代わりに特定の BlackBerry Dynamics 接続プロファイルをアプリで使用する場合は、[BlackBerry Dynamics 接続プロファイルを上書きする] ドロップダウンリストからプロファイルを選択します。
内部アプリのアプリ設定を追加または変更する。	<ol style="list-style-type: none"> a. [アプリの設定] の横にある [テンプレートのアップロード] をクリックして、新しいアプリ設定テンプレートを追加します。 b. テンプレートの場所を参照します。 c. [保存] をクリックします。 <p>テンプレート作成の詳細については、『BlackBerry Dynamics SDK 開発ガイド』を参照してください。</p>

タスク	手順
一般アプリのアプリ設定を追加または変更します。	<p>a. [アプリの設定] 表で、+ をクリックします。</p> <p>b. アプリ設定の名前を入力します。</p> <p>c. 設定を編集します。</p> <p>d. [保存] をクリックします。</p> <p>e. 必要に応じて、矢印を使用してアプリ設定を上下に移動し、優先度を変更します。</p> <p>詳細については、「BlackBerry UEM Client アプリの設定」を参照してください。</p> <p>BlackBerry Work、BlackBerry Notes、および BlackBerry Tasks アプリ設定の詳細については、BlackBerry Work、メモ、およびタスク管理関連の資料の「BlackBerry Work アプリ設定の指定」および「BlackBerry Notes および BlackBerry Tasks アプリ設定の指定」を参照してください。</p>
サーバー設定ペイロードを追加または変更して、アプリの設定に使用するキーと値を指定する。	<p>アプリにカスタムアプリポリシーがある場合は、カスタムポリシーがサーバー設定ペイロード領域に追加されます。</p> <p>a. [サーバー設定ペイロード] セクションで [追加] をクリックします。</p> <p>b. テキストボックスに、設定ペイロードの XML または JSON コードを入力します。</p>
BlackBerry Dynamics アプリで、ユーザー証明書、SCEP プロファイル、およびユーザー資格情報プロファイルを使用できるようにします。	<p>アプリでユーザー証明書を認証オプションとして使用できるかどうかを選択します。BlackBerry Dynamics アプリで証明書を使用する環境の設定方法の詳細については、「プロファイルを使用して証明書をデバイスおよびアプリに送信する」を参照してください。</p>

- 管理するデバイスプラットフォームのタブをクリックし、適切なオプションを設定します。
- [保存] をクリックします。

iOS および macOS : BlackBerry Dynamics アプリの設定

次の設定の多くは iOS デバイスでのみサポートされ、[macOS] タブには表示されません。

iOS および macOS の設定	説明
iOS または macOS バンドル ID	この設定では、アプリのパッケージ ID を指定します。
アプリ名	この設定では、アプリリストに表示するアプリの名前を指定します。
ベンダー	この設定では、アプリのベンダーを指定します。
アプリの説明	この設定では、アプリの説明を指定します。

iOSおよび macOS の設定	説明
カテゴリ	アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリに分類したりするために、この設定ではカテゴリを指定します。カテゴリを選択するか、名前を入力して新しいカテゴリを作成できます。
スクリーンショット	この設定では、アプリのスクリーンショットを指定します。[追加]をクリックして画像を選択します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または.gifです。
サポートされているデバイスのフォームファクター	この設定では、アプリをインストールできるフォームファクターを指定します。例えば、次の状況では、そのアプリが Work Apps アプリで使用されないようにすることができます (iPad デバイス)。
BlackBerry UEM からデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する	<p>この設定では、UEM からデバイスが削除されたら、アプリもデバイスから削除するかどうかを指定します。</p> <p>この設定は、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用され、「必須」アプリのデフォルトのインストールは、プロンプトが1回表示されるように設定されます ([一度確認する])。</p>
アプリに対する iCloud バックアップを無効化	<p>この設定では、アプリを iCloud オンラインサービスにバックアップできるかどうかを指定します。</p> <p>このオプションは、「必須」としてマークされた種別のアプリにのみ適用されません。</p>
必須アプリのデフォルトのインストール	<p>この設定では、プロンプトを表示して、必須アプリのインストールをユーザーに求めるかどうかを指定します。次のオプションのいずれかを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 一度確認する : iOS デバイスにアプリをインストールするようにプロンプトを1回表示します。ユーザーは、このプロンプトを無視しても、後から、BlackBerry UEM Client アプリの Work Apps 画面またはデバイスの Work Apps アイコンを使用してアプリをインストールできます。 • 確認しない : アプリのインストールに関して、ユーザーにはプロンプトが表示されません。 <p>この設定は、アプリの種別が [必須] に設定されている場合にのみ適用されません。ユーザーまたはグループにアプリを割り当てる際に、アプリの種別を設定してください。</p>
インストールされた個人用アプリを仕事用アプリに変換する	この設定は、アプリが既に iOS デバイスにインストールされている場合に、アプリを仕事用アプリに変換するかどうかを指定します。アプリをユーザーに割り当てた後、[変換]を選択した場合、そのアプリを仕事用アプリに変換して、BlackBerry UEM で管理することができます。
制限されるバージョン	この設定では、デバイスへのインストールをユーザーに禁じるアプリバージョンを指定します。複数のバージョンを追加する場合は、各バージョンをカンマで区切ります。

Android : BlackBerry Dynamics アプリの設定

Android 設定	説明
内部アプリのソースファイルを追加する	この設定は、パブリックストアアプリの内部アプリソースファイルの場所を指定します。 内部アプリソースファイルを追加するには、「 BlackBerry Dynamics アプリのソースファイルのアップロード 」を参照してください。
Android パッケージ名	この設定では、アプリのパッケージ ID を指定します。
アプリ名	この設定では、アプリリストに表示するアプリの名前を指定します。
ベンダー	この設定では、アプリのベンダーを指定します。
アプリの説明	この設定では、アプリの説明を指定します。
カテゴリ	アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリに分類したりするために、この設定ではカテゴリを指定します。カテゴリを選択するか、名前を入力して新しいカテゴリを作成できます。
送信先	この設定では、アプリをすべての Android デバイスに送信するか、Android Enterprise デバイスのみに送信するか、Samsung Knox Workspace デバイスのみに送信するかを指定します。
制限されるバージョン	この設定では、デバイスへのインストールをユーザーに禁じるアプリバージョンを指定します。複数のバージョンを追加する場合は、各バージョンをカンマで区切ります。

Windows : BlackBerry Dynamics アプリの設定

Windows 設定	説明
Windows 10 (UWP) のアプリパッケージ ID	この設定では、Windows 10 アプリのパッケージファミリー名を指定します。
アプリ名	この設定では、アプリリストに表示するアプリの名前を指定します。
ベンダー	この設定では、アプリのベンダーを指定します。
アプリの説明	この設定では、アプリの説明を指定します。
カテゴリ	アプリリストのアプリをカテゴリでフィルタリングしたり、ユーザーデバイスの仕事用アプリリストでアプリをカテゴリに分類したりするために、この設定ではカテゴリを指定します。カテゴリを選択するか、名前を入力して新しいカテゴリを作成できます。

Windows 設定	説明
スクリーンショット	この設定では、アプリのスクリーンショットを指定します。[追加]をクリックして画像を選択します。サポートされている画像タイプは、.jpg、.jpeg、.png、または.gifです。
BlackBerry UEM からデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する	この設定では、BlackBerry UEM からデバイスが削除されたら、アプリもデバイスから削除するかどうかを指定します。 この設定は、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用され、「必須」アプリのデフォルトのインストールは、プロンプトが1回表示されるように設定されます（[一度確認する]）。
制限されるバージョン	この設定では、デバイスへのインストールをユーザーに禁じるアプリバージョンを指定します。複数のバージョンを追加する場合は、各バージョンをカンマで区切ります。

BlackBerry UEM Client アプリの設定

オプション	説明
バイパスロック解除の有効化	このオプションを選択した場合、UEM Client では BlackBerry Dynamics のユーザー認証/ロック画面がバイパスされ、UEM Client アプリのロックを解除しなくても、ユーザーは UEM Client を起動できるようになります。BlackBerry 2FA を設定した場合、BlackBerry 2FA の承諾/辞退画面が表示され、ユーザーによる承諾が必要になります。これ以降、ユーザーのアプリまたはサービスへのログインは BlackBerry 2FA 経由になります。
アプリ名	アプリの名前を入力します。Purebred など、組織のアプリベース PKI ソリューションを使用して、BlackBerry Dynamics アプリの証明書を登録する場合、このオプションを選択します。アプリをデバイスにインストールし、PKI アプリで登録された証明書を使用することを BlackBerry Dynamics アプリに許可できます。このオプションは iOS デバイスでのみサポートされます。
UTI スキーム	組織のアプリベースの PKI ソリューションに対して、UTI スキームを指定します。たとえば、Purebred アプリを使用している場合は、スキーム purebred.select.all-user、purebred.select.no-filter、purebred.zip.all-user、purebred.zip.no-filter を使用します。

デバイスでの BlackBerry Dynamics アプリのアクティブ化のためのサードパーティ ID プロバイダーの設定

サードパーティ ID プロバイダーを設定して、ユーザーがディレクトリ資格情報を使用してサインインし、デバイス上の BlackBerry Dynamics アプリをアクティブ化できるようにすることができます。また、アプリのロックを解除したり、BlackBerry Dynamics アプリのパスワードをリセットしたりすることもできます。

作業を始める前に：この機能を設定するには、次のものがが必要です。

- サポートされている BlackBerry Dynamics SDK バージョンでコンパイルされた BlackBerry Dynamics アプリ
- 有効化された BlackBerry Enterprise Identity

1. 組織のサードパーティ ID プロバイダを BlackBerry Enterprise Identity と連携するように設定します。

- Okta および BlackBerry Enterprise Identity の設定詳細については、『[BlackBerry Enterprise Identity 管理ガイド](#)』を参照してください。組織の Okta インスタンスが使用する Microsoft Active Directory が、[設定] > [外部統合] > [会社のディレクトリ] から BlackBerry UEM でも設定されていることを確認します。
- PingFederate および BlackBerry Enterprise Identity の設定詳細については、『[BlackBerry Enterprise Identity 管理ガイド](#)』を参照してください。

2. 次の操作のいずれかを実行します。

- PingFederate または Okta を使用している場合、[Enterprise IDP を介した Dynamics アクティベーション] を OpenID Connect アプリとして有効にします。
- Active Directory を ID プロバイダとして使用している場合、[Dynamics Active Directory アクティベーション] を OpenID Connect アプリとして追加します。

詳細については、『[BlackBerry Enterprise Identity 管理ガイド](#)』を参照してください。

3. BlackBerry UEM で、組織の ID プロバイダを設定します。詳細については、『[BlackBerry Enterprise Identity 管理ガイド](#)』、「[PingFederate](#)」および「[Okta](#)」の手順を参照してください。

4. BlackBerry UEM で、BlackBerry Enterprise Identity 認証ポリシーを作成します。[サービス例外を管理] を選択し、[Enterprise IDP を介した Dynamics アクティベーション] サービスを追加します。詳細については、『[BlackBerry Enterprise Identity 管理ガイド](#)』を参照してください。

5. BlackBerry Enterprise Identity 認証ポリシーをユーザーに割り当てます。詳細については、『[BlackBerry Enterprise Identity 管理ガイド](#)』を参照してください。

終了したら：

- アクティベーションプロセス中に、ユーザーは [管理者から指示された場合は組織でサインインする] オプションを選択して、組織の ID プロバイダーを使用してサインインする必要があります。
- 詳細については、『[Android 用 UEM クライアントユーザーガイド](#)』を参照してください。

Apple DEP およびユーザー登録デバイスでの最初の BlackBerry Dynamics アプリの自動アクティベーション

Apple DEP デバイスのアクティベーション中、またはユーザーのプライバシー - ユーザー登録 アクティベーションタイプを使用した iOS デバイスのアクティベーション中に、プライマリの認証委任である BlackBerry Dynamics アプリを最初にインストールし、事前設定すれば、ユーザーが初めてアプリを起動したときに手動で情報を入力せずに自動的にアクティベーションできます。ユーザーはこのアプリを使用して、デバイス上の他の BlackBerry Dynamics アプリを簡単にアクティベーションできます。

iOS デバイス上の最初の BlackBerry Dynamics アプリを自動的にアクティブ化するには：

1. アクティブ化するデバイスが Apple DEP に登録されているか、またはユーザーのプライバシー - ユーザー登録 アクティベーションタイプが割り当てられていることを確認します。

- BlackBerry Dynamics プロファイルで、BlackBerry Dynamics アプリをプライマリの認証委任として設定します。たとえば、BlackBerry Work が最も頻繁に使用されるアプリである場合は、それをプライマリの認証委任として設定します。

メモ：DEP に登録された iOS デバイスの場合は、BlackBerry UEM Client をプライマリの認証委任として設定しないでください。

- プライマリの認証委任であるアプリを、必須の種別としてユーザーに割り当てます。

BlackBerry Dynamics アプリサービスの管理

アプリサービスは、モバイルベースまたはサーバーベースのアプリによって提供される共有機能です。BlackBerry Dynamics SDK を使用すると、アプリ開発者は、他の開発者が独自の BlackBerry Dynamics アプリで使用できるように、アプリの機能を公開できます。管理コンソールでは、組織のアプリサービスを登録したり、開発者からサービス定義を提供したりできます。組織の開発者は、登録済みのアプリサービスをレビューしたり、作成した BlackBerry Dynamics アプリで利用可能なサービス定義を活用したりできます。

選択した BlackBerry Dynamics アプリおよびパートナーアプリ用のアプリサービスも利用可能です。また、管理コンソールでは、関連付けられたサービス定義を表示できます。アプリサービスの開発の詳細については、[BlackBerry の開発者コミュニティ](#)にアクセスしてください。

作業を始める前に：組織のアプリサービスを登録する場合は、アプリサービス ID、バージョン番号、およびサービス定義があることを確認してください。

- 管理コンソールのメニューバーで、[設定] > [BlackBerry Dynamics] をクリックします。
- [アプリサービス] をクリックします。
- 次のタスクを実行します。

タスク	手順
組織のアプリサービスを登録します。	<ol style="list-style-type: none"> + [サービスの種類] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> アプリサービスがモバイルアプリで提供される場合は、[アプリケーション] をクリックします。 アプリサービスがサーバーベースのアプリで提供される場合は、[サーバー] をクリックします。 [ID] フィールドにアプリサービス ID を入力します。ID は、リバース DNS 表記（例えば、com.example.service.print）で、固有の文字列（すべて小文字）にする必要があります。 アプリサービスの名前と説明を入力します。 [バージョン] フィールドにバージョンを入力します。バージョン番号には、数字のみを使用できます。1 つ以上のサブバージョン番号（ビルドバージョンなど）を追加する場合は、期間を使用してセグメントを分離します。各セグメントの先頭には 0 を使用できません（例えば、1.1.5 は有効で、1.1.05 は無効です）。 オプションで、バージョンの説明を入力します。 [サービス定義] フィールドに、JSON 形式でサービス定義を入力します。 [保存] をクリックします。


タスク	手順
<p>アプリサービスを編集します。</p>	<p>新しいバージョンの追加など、組織の登録済みアプリサービスを編集する場合は、次の手順を実行します。アプリサービスタイプまたはIDは変更できません。BlackBerry Dynamics アプリサービスまたはパートナーアプリサービスは編集できません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 編集するアプリサービスを検索します。 アプリサービス名をクリックします。 必要に応じてアプリサービスの詳細を編集します。 <p>メモ：アプリサービスのバージョンを削除しても、サービスを提供しているアプリ、またはサービスを使用しているアプリには影響がありません。この操作では、組織の開発者が参照できないように、管理コンソールからサービス定義が削除されるだけです。</p> <ol style="list-style-type: none"> [保存] をクリックします。
<p>アプリサービスを削除します。</p>	<p>BlackBerry Dynamics アプリサービスまたはパートナーアプリサービスは削除できません。アプリサービスを管理コンソールから削除しても、サービスを提供しているアプリ、またはサービスを使用しているアプリには影響がありません。この操作では、組織の開発者が参照できないように、管理コンソールからサービス定義が削除されるだけです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 削除するアプリサービスを検索します。 サービスの横にある X をクリックします。 [削除] をクリックします。

終了したら：管理コンソールで、アプリがサービスを提供していると通知できるように、オプションで、アプリサービスのバージョンを監視対象アプリにバインドできます。詳細については、「[BlackBerry Dynamics アプリの設定の管理](#)」を参照してください。

アプリインストールのランク付け

アプリをデバイスに割り当てるときに、アプリにランク付けして、アプリをインストールする順序を制御できます。ランクを設定すると、BlackBerry Dynamics 認証委任アプリが最初にデバイスにプッシュされます。iOS アプリの場合、ランク付けは一般のアプリおよび BlackBerry UEM でホストされているアプリに適用されます。Android アプリの場合、ランク付けは BlackBerry UEM または Google Play でホストされているアプリに適用されます。

Google Play でホストされているアプリのランク付けは、Android Enterprise でアクティベーションされ、Google Play で有効化されているデバイスでのみサポートされます。BlackBerry UEM でホストされているアプリと Google Play でホストされているアプリのランク付けは、別々に適用されます。Google Play でデバイスを有効にするには、アクティベーションプロファイルを作成する際に、次のいずれかのオプションを選択します。

- 仕事用領域に Google Play アカウントを追加する
 - Samsung Knox Workspace デバイスの Google Play アプリ管理
1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] > [アプリのインストールランキング] をクリックします。
 2.  をクリックします。

3. 次の操作のいずれかを実行します。

- ・ ランク付けするアプリを追加するには、**+**をクリックし、アプリを選択して [追加] をクリックします。
- ・ ランク付けからアプリを削除するには、削除するアプリの横にある **X** をクリックし、[削除] をクリックします。

4. [ランク] 列で、**↑↓** をクリックして、デバイスにインストールする順番でアプリを配置します。

5. [保存] をクリックします。

BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加

BlackBerry Dynamics で有効になっているデバイスの場合は、割り当てられた仕事用アプリのリストにユーザーが迅速にアクセスできるように、仕事用アプリカタログを BlackBerry Dynamics Launcher に追加できます。

メモ：仕事用アプリのカタログを BlackBerry Dynamics Launcher に表示するには、デバイスに BlackBerry Access をインストールしてアクティブ化する必要があります。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[グループ] をクリックします。
2. [すべてのユーザー] グループを選択します。
3. [割り当てられたアプリ] セクションで、**+** をクリックします。
4. [検索] フィールドで、[機能 - BlackBerry App Store] を検索します。
5. [機能 - BlackBerry App Store] を選択します。
6. アプリの [種別] ドロップダウンリストで [必須] を選択します。
7. [割り当て] をクリックします。

BlackBerry Dynamics アプリのアクセスキー、アクティベーションパスワード、または QR コードの生成

BlackBerry Dynamics アプリをデバイスでアクティベートするには、アクセスキー、アクティベーションパスワード、QR コードが必要です。ユーザーがアプリをインストールすると、BlackBerry UEM Client は BlackBerry UEM からアクセスキーまたはアクティベーションパスワードを自動で要求できます。次の状況で BlackBerry Dynamics アプリをアクティベートする場合、管理者またはユーザーがアクセスキー、アクティベーションパスワード、または QR コードを手動で生成して送信する必要があります。

- ・ Samsung Knox Workspace デバイスの場合
- ・ MDM が不要で、UEM Client がインストールされていない iOS および Android デバイスの場合
- ・ UEM Client を必要としないデバイスで BlackBerry Dynamics アプリをアクティブ化するユーザーの場合

管理者は、新規ユーザーの作成時や、それ以降の任意の時点で、アクセスキー、アクティベーションパスワード、または QR コードを生成できます。アクセスキー、アクティベーションパスワード、または QR コードを受信するために、ユーザーが BlackBerry UEM でデバイスをアクティベートする必要はありません。管理者がアクセスキー、アクティベーションパスワード、または QR コードを生成するために、ユーザーのメールアドレスは不要です。ユーザーはまた、BlackBerry UEM Self-Service でアクセスキー、アクティベーションパスワード、または QR コードを生成することもできます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ユーザー] > [管理対象デバイス] をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。

3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. [アクティベーションパスワードの設定] をクリックします。次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
<p>アクティベーションパスワードおよび QR コードを生成します。</p> <p>この機能を使用するには、BlackBerry Dynamics アプリが BlackBerry Dynamics SDK 8.0 以降を含むソフトウェアバージョンを実行している必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> a. [アクティベーションオプション] ドロップダウンリストで、[指定されたアクティベーションプロファイルでデバイスアクティベーション] を選択します。 b. [アクティベーションプロファイル] ドロップダウンリストで、パスワードとペアリングするアクティベーションプロファイルを選択します。 c. [アクティベーションパスワード] ドロップダウンリストで、以下のタスクのいずれかを実行します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ パスワードを自動的に生成する場合は、[デバイスアクティベーションパスワードを自動生成し、アクティベーションの手順を記載したメールを送信する] を選択します。このオプションを選択した場合は、ユーザーに情報を送信するためにメールテンプレートを選択する必要があります。 ・ ユーザーのアクティベーションパスワードを設定し、オプションでアクティベーションメールを送信する場合、[デバイスアクティベーションパスワードを設定する] を選択します。 d. オプションで、アクティベーション期間の有効期限を変更します。アクティベーションの有効期限は、アクティベーションパスワードを有効のままにする時間を指定しています。 e. [アクティベーションメールテンプレート] ドロップダウンリストで、使用するメールテンプレートを選択します。 f. [送信] をクリックします。 <p>ユーザーがメールアドレスを持っていない場合、アクティベーションパスワードと QR コードを見つけるには、[デバイスアクティベーションパスワード] の [アクティベーションの詳細] セクションにある [アクティベーションメールを表示] リンクをクリックします。</p>
<p>アクセスキーを生成します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> a. [アクティベーションオプション] ドロップダウンリストで、[BlackBerry Dynamics アクセスキー生成] を選択します。 b. [生成するアクセスキーの数] ドロップダウンリストで、ユーザーのために作成するアクセスキーの数を選択します。 c. アクセスキーの有効期間を日数で選択します。 d. [メールテンプレート] ドロップダウンリストで、使用するメールテンプレートを選択します。ユーザーにメールアドレスがない場合は、[なし] を選択します。 e. [送信] をクリックします。 <p>ユーザーがメールアドレスを持っていない場合にアクセスキーを探すには、[アクティベーションの詳細] セクションの [BlackBerry Dynamics アクセスキー] で、生成したキーの数を表示しているリンクをクリックします。</p>

終了したら：ユーザーアカウント画面の [アクティベーションの詳細] セクションで、**BlackBerry Dynamics** アクセスキーの横にある番号をクリックして、生成されたアクセスキーのリストを表示できます。生成されたキーを再送信 (🔄) または削除 (X) できます。

ユーザーへの BlackBerry Dynamics アプリロック解除キーおよび QR コードの送信

いずれかの BlackBerry Dynamics アプリがロックされている場合に、アプリロック解除キーと QR コードをユーザーに送信できます。ユーザーに送信するメールメッセージのテンプレートを編集することができます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ユーザー] をクリックします。
2. ユーザーアカウントを検索します。
3. 検索結果で、ユーザーアカウントの名前をクリックします。
4. ユーザーのデバイスをクリックします。
5. [アプリのアクション] 行の BlackBerry Dynamics セクションで、メールを受信するユーザーのアプリに対し [アプリをロック解除する] を選択します。
6. [アプリをロック解除する] ページの [メールテンプレート] フィールドで、BlackBerry Dynamics ロック解除キーのメールを選択します。
7. [送信] をクリックします。

iOS デバイスでの BlackBerry Dynamics アプリの画面キャプチャルールの設定

iOS デバイス上の BlackBerry Dynamics アプリの画面キャプチャに対応するコンプライアンスポリシーのオプションを有効にできます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [コンプライアンス] > [コンプライアンス] をクリックします。
3. [+] をクリックします。
4. コンプライアンスプロファイルの名前と説明を入力します。
5. [iOS] タブをクリックします。
6. [iOS デバイスでの BlackBerry Dynamics 画面キャプチャ検出] を選択します。
7. [期間内の画面キャプチャの最大数] リストで、数字を選択します。
8. [期間の長さ] フィールドで、セッションを継続できる日数を入力します。
9. [BlackBerry Dynamics アプリの強制アクション] リストで、ユーザーが許可されている画面キャプチャ数を超えた場合に発生するアクションを選択します。次の操作のいずれかを実行します。
 - [監視とログ] の選択：ユーザーが画面キャプチャを取得したときに、画面キャプチャが禁止されていることを示す警告メッセージがデバイスに表示されます。
 - [BlackBerry Dynamics アプリの実行を許可しない] を選択すると、ユーザーが画面キャプチャを禁止されている期間を知らせるメッセージがデバイスに表示されます。このオプションを選択した場合は、[次の期間後にすべての実行を許可する] フィールドに、強制アクションを継続する時間を分、時間、または日数で入力します。

10. [保存] をクリックします。

BlackBerry Work からの就業時間外の通知のオフ

BlackBerry Work for Android と BlackBerry Work for iOS では、[通知しない] プロファイルを使用して、就業時間外にデバイスの通知をブロックできます。

作業を始める前に：

- BEMS がインストールされ、環境で設定されています。手順の詳細については、『[BEMS インストールおよび設定ガイド](#)』参照してください。
- BlackBerry Work は、BlackBerry Dynamics 接続プロファイルに追加されます。「[BlackBerry Work 管理コンテンツでの BlackBerry Work 接続の設定](#)」を参照してください。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [保護] > [サイレント] をクリックします。
3. + をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. BlackBerry Work 通知がブロックされたときにデバイスに表示するメッセージを入力します。このフィールドを空白のままにすると、デフォルトのメッセージが表示されます。
6. 次の操作のいずれかを実行します。

タスク	手順
共通の仕事日および時間を指定する。	<ol style="list-style-type: none">a. [共通の仕事日および時間を選択する] オプションをクリックします。b. [開始] ドロップダウンリストで、仕事日が開始する時刻を指定します。c. [終了] ドロップダウンリストで、仕事日が終了する時刻を指定します。d. [仕事日] リストで、仕事日にあたる曜日を選択します。
特定の日のカスタムの仕事時間を指定する。	<ol style="list-style-type: none">a. [カスタムの仕事日および時間を選択する] オプションをクリックします。b. 曜日を選択します。c. [開始] ドロップダウンリストで、仕事日が開始する時刻を指定します。d. [終了] ドロップダウンリストで、仕事日が終了する時刻を指定します。e. 仕事日である曜日ごとに、手順 2~4 を繰り返します。

7. [追加] をクリックします。

Microsoft Intune で保護されているアプリの管理

Microsoft Intune は、MDM と MAM の両方の機能を備えたクラウドベースの EMM サービスです。Intune MAM は、アプリ（Office 365 アプリなど）にセキュリティ機能を提供しており、アプリ内でデータを保護します。例えば、Intune では、アプリ内でのデータ暗号化を要求したり、コピー、貼り付け、印刷、[名前を付けて保存] コマンドの使用を禁止したりできます。

Intune は、アプリ保護ポリシーを使用してアプリとデータを保護します。UEM を Intune に接続すると、iOS および Android デバイスの Intune アプリ保護プロファイルを使用して、UEM 管理コンソールからアプリ保護ポリシーを管理できます。UEM でアプリ保護プロファイルを作成または更新すると、設定が Intune に送信され、対応するアプリ保護ポリシーが更新されます。

UEM を Intune に接続して、Intune で保護されたアプリを展開し、アプリ保護プロファイルを管理するには、UEM 設定関連の資料で「[Microsoft Intune アプリ保護プロファイルを管理するための BlackBerry UEM の設定](#)」を参照してください。

メモ：Microsoft National Cloud の導入では、UEM を Intune に接続するのに必要な API はサポートされません。National Cloud の導入では、UEM を Intune と統合できません。詳細については、[Microsoft Graph の資料](#)を参照してください。

Microsoft Intune アプリ保護プロファイルの作成

BlackBerry UEM で、Microsoft Intune アプリ保護プロファイルを作成または更新すると、プロファイル設定が Intune に送信され、対応するアプリ保護ポリシーが更新されます。Microsoft Intune アプリ保護プロファイルは、ディレクトリにリンクされたグループにのみ割り当てることができます。

UEM でアプリ保護プロファイルを作成した後、UEM のプロファイルを更新し、Intune の対応するアプリ保護ポリシーは更新しないようにする必要があります。Intune で対応するポリシーを更新した場合、変更は UEM のプロファイルと同期されません。

作業を始める前に：

- UEM と Microsoft Intune の間で接続を設定します。設定関連の資料で「[Microsoft Intune アプリ保護プロファイルを管理するための BlackBerry UEM の設定](#)」を参照してください。
- Android デバイスの場合、Microsoft Company Portal アプリがデバイスにインストールされていることを確認します。詳細については、[Microsoft Intune 関連の資料](#)を参照してください。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [保護] > [**Microsoft Intune** アプリ保護プロファイル] をクリックします。
3. + をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. デバイスタイプごとに適切な値を設定します。以下を参照してください。
 - 共通：[Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定](#)
 - iOS：[Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定](#)
 - Android：[Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定](#)
6. [追加] をクリックします。

終了したら：Intune アプリ保護プロファイルを、ディレクトリにリンクされたグループに割り当てます。

共通：Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定

これらの設定は、Intune アプリの保護ポリシーの設定に対応しています。設定の詳細については、[Microsoft Intune のドキュメントを参照してください](#)。

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
相互操作性	
Intune と Dynamics アプリの間で相互操作性を有効にする	<p>この設定では、BlackBerry Dynamics アプリが、Microsoft 365 アプリなど、Intune で管理されているデバイス上のアプリと相互操作できるかどうかを指定します。</p> <p>BlackBerry Dynamics アプリと Intune で管理されているアプリの間で相互操作性を確保するには、ユーザーのデバイスに BlackBerry BRIDGE をインストールする必要があります。</p> <p>詳細については、『BlackBerry BRIDGE 管理ガイド』を参照してください。</p>
カスタム JSON	<p>JSON 値を編集して、BlackBerry BRIDGE アプリでユーザーに表示されるメッセージと警告をカスタマイズします。</p>
データの再配置	
他のアプリへのデータ転送をアプリに許可する	<p>この設定では、アプリ Intune で管理されているアプリは、データを送信できると指定しています。</p> <p>[ポリシー管理アプリ] オプションを使用すると、Intune で管理されている他のアプリにのみデータを転送できます。</p> <p>[Intune と Dynamics アプリの間で相互操作性を有効にする] 設定が選択されている場合、この設定をデフォルトオプションから変更することはできません。</p>
他のアプリからのデータ受信をアプリに許可する	<p>この設定では、アプリ保護ポリシーで管理されているアプリがデータを受信できると指定しています。</p> <p>[ポリシー管理アプリ] オプションを使用すると、Intune で管理されている他のアプリからのみデータを転送できます。</p> <p>[Intune と Dynamics アプリの間で相互操作性を有効にする] 設定が選択されている場合、この設定をデフォルトオプションから変更することはできません。</p>
[名前を付けて保存] を禁止する	<p>この設定では、[名前を付けて保存] オプションをアプリで有効にするかどうかを指定します。</p> <p>オンプレミス環境でこの設定を選択した場合、[名前を付けて保存] オプションを使用して、仕事用データのみを以下の 1 つ以上の場所に保存することを許可できます。</p> <ul style="list-style-type: none">ローカルストレージOneDrive for BusinessSharePoint

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
他のアプリによる切り取り、コピー、貼り付けを制限する	<p>この設定では、アプリで切り取り、コピー、貼り付けを利用できるレベルを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブロック済み：このオプションは、目的のアプリとその他のアプリの間で、切り取り、コピー、貼り付けを禁止します。 • ポリシー管理アプリ：このオプションは、目的のアプリと Intune で管理されているその他のアプリの間で、切り取り、コピー、貼り付けを許可します。 • 貼り付け関連のポリシー管理アプリ：このオプションは、あらゆるアプリからのデータ貼り付けを許可しますが、ポリシー管理アプリから切り取られた、またはコピーされたデータは、Intune で管理されている他のアプリにのみ貼り付けることができます。 • あらゆるアプリ：このオプションは、デバイスにあるすべてのアプリ間で、切り取り、コピー、貼り付けを許可します。
コンタクトの同期を無効にする	この設定では、アプリがデバイス上のネイティブの連絡先アプリに連絡先を保存できるかどうかを指定します。
印刷を無効にする	この設定では、アプリでデータを印刷できるようにするかどうかを指定します。
包含グループ	この設定では、包含グループにポリシーを展開するかどうかを指定します。
アクセス	
アクセス時に会社の資格情報を要求する	<p>この設定では、ユーザーがアプリにアクセスする場合に組織の資格情報を使用する必要があるかどうかを指定します。</p> <p>このルールが選択されている場合、PIN または指紋の要件よりも優先されます。</p>
脱獄やルート化が行われたデバイスでは監視対象アプリの実行をブロックする	この設定では、脱獄やルート化が行われたデバイスでアプリを実行できるかどうかを指定します。
アクセス要件のタイムアウト期間を再チェックする	この設定では、アプリが開いているときに、アプリのアクセス要件を再チェックする頻度を分で指定します。
オフライン猶予期間	この設定では、デバイスがオフラインになっているときに、アプリのアクセス要件を再チェックする頻度を分で指定します。
アプリデータの消去に至るオフライン期間	この設定では、デバイスがオフラインになって以降、デバイスからアプリデータを消去するまで期間を日数で指定します。

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
アクセス時に PIN を要求する	<p>この設定では、ユーザーがアプリにアクセスする場合に PIN を入力する必要があるかどうかを指定します。このオプションが選択されている場合、ユーザーはアプリを初めて実行するときに PIN の入力を求められます。</p> <p>[アクセス時に会社の資格情報を要求する] 設定が選択されている場合は、この設定がこのルールよりも優先されます。</p>
PIN リセットまでの試行回数	この設定では、PIN のリセットが強制される前に、ユーザーが実行できる PIN 入力の試行回数を指定します。
単純な PIN を許可する	この設定では、ユーザーが 1234 または 1111 のような単純な PIN シーケンスを使用できるかどうかを指定します。
PIN 長	この設定は、PIN の最小桁数を指定します。
PIN の代わりに指紋を許可する	この設定では、ユーザーがアプリにアクセスする際に PIN ではなく指紋を使用できるかどうかを指定します。
デバイス PIN が管理されている場合はアプリ PIN を無効にする	<p>この設定では、デバイスでパスワードが要求される場合に、アプリで PIN のプロンプトを表示するかどうかを指定します。</p> <p>この設定が選択されている場合で、なおかつ、デバイスの UEM IT ポリシーでパスワードが要求される場合、Android デバイスではアプリ PIN が要求されません。iOS デバイスでアプリ PIN を無効にするには、Intune でデバイス PIN を要求する必要があります。</p>
PIN 文字セット	<p>この設定では、PIN に含める必要がある文字のタイプを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 数字：PIN には数字のみを含める必要があります。 • 英数字と記号：PIN には文字、数字、記号を含める必要があります。
PIN のリセット	この設定では、ユーザーが PIN をリセットするまでの日数を指定します。デフォルト設定は 90 日です。

iOS : Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定

これらの設定は、Intune アプリの保護ポリシーの設定に対応しています。設定の詳細については、[Microsoft Intune のドキュメントを参照してください](#)。

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
アプリデータの暗号化	<p>この設定では、アプリデータを暗号化するタイミングを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイスがロックされる時：このオプションを選択すると、デバイスのロック時にすべてのアプリデータが暗号化されます。 • デバイスがロックされ、ファイルが開いている時：このオプションを選択すると、デバイスのロック時にアプリデータが暗号化されます。開いているファイルのデータは暗号化されません。 • デバイスの再起動後：このオプションを選択すると、デバイスが再起動され、最初のロック解除が行われるまでの間に、アプリデータが暗号化されます。 • デバイスの設定を使用：このオプションを選択すると、デバイスのデフォルト設定に従って、アプリデータが暗号化されます。このオプションを選択すると、ユーザーはデバイスでパスワードを設定する必要があります。
iTunes と iCloud のバックアップの防止	<p>この設定では、アプリデータを iTunes または iCloud にバックアップできるかどうかを指定します。</p>
アプリパッケージ ID	<p>この設定では、このプロファイルを適用するアプリのパッケージ ID を指定します。パッケージ ID を入力するか、Intune で管理している利用可能なアプリのリストから選択することができます。</p>
他のアプリとの Web コンテンツの転送を制限	<p>この設定は、アプリで Web リンクを開くブラウザを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 任意のアプリ：ユーザーは、Web リンクを開くアプリを選択できます。 • Intune 管理ブラウザ：Web リンクは、Intune によって管理されている任意のブラウザで開くことができます。 • Microsoft Edge：Web リンクは Microsoft Edge で開きます。 • BlackBerry Access：Web リンクは BlackBerry Access で開きます。 • 管理されていないブラウザ：Web リンクは、Intune によって管理されていない任意のブラウザで開くことができます。Web リンクを開くには、使用されているプロトコルを指定する必要があります。
管理されていないブラウザプロトコル	<p>Web リンクを開くために使用する必要があるブラウザプロトコル (http または https など) を指定します。Web リンクは、プロトコルをサポートするすべてのブラウザで開けます。</p>
最低限の iOS バージョンを要求する	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限の iOS バージョンを指定します。デバイスの iOS バージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。</p> <p>小数点が 1 つのバージョンを指定できます (たとえば、12.0)。</p>
最低限の iOS バージョンを要求する (警告のみ)	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限の iOS バージョンを指定します。デバイスの iOS バージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知 (閉じることができる) が表示されます。</p> <p>小数点が 1 つのバージョンを指定できます (たとえば、12.0)。</p>

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
最低限のアプリバージョンを要求する	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限のアプリバージョンを指定します。デバイスのアプリバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。</p> <p>小数点が1つのバージョンを指定できます（たとえば、4.2）。</p> <p>通常、アプリが違えばバージョン管理スキームも異なるため、最低限のアプリバージョンを指定する場合は、アプリごとに個別にプロファイルを作成する必要があります。</p>
最低限のアプリバージョンを要求する（警告のみ）	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限のアプリバージョンを指定します。デバイスのアプリバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（閉じることができる）が表示されます。</p> <p>小数点が1つのバージョンを指定できます（たとえば、4.2）。</p> <p>通常、アプリが違えばバージョン管理スキームも異なるため、最低限のアプリバージョンを指定する場合は、アプリごとに個別にプロファイルを作成する必要があります。</p>
最小 SDK バージョン	<p>この設定では、アプリに必要な Intune SDKの最小バージョンを指定します。SDKバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリへのアクセスをブロックされます。</p>
アクセス用 PIN の代わりに Face ID	<p>この設定では、ユーザーが PIN を使用する代わりに Face ID を使用してアプリにアクセスできるかどうかを指定します。</p>

Android : Microsoft Intune アプリ保護プロファイル設定

これらの設定は、Intune アプリの保護ポリシーの設定に対応しています。設定の詳細については、[Microsoft Intune のドキュメントを参照してください](#)。

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
アプリデータの暗号化	<p>この設定では、アプリデータを暗号化するかどうかを指定します。このルールを選択すると、アプリデータは、すべてのファイル入出力タスクで同期的に暗号化されます。</p>
Android バックアップの防止	<p>この設定では、アプリデータを Android バックアップサービスにバックアップできるかどうかを指定します。</p>
画面キャプチャと Android Assistant のブロック	<p>この設定では、保護対象アプリの使用時に、画面キャプチャと Android Assistant アプリのスキャン機能を許可するかどうかを指定します。</p>

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
アプリパッケージ ID	この設定では、このプロファイルを適用するアプリのパッケージ ID を指定します。パッケージ ID を入力するか、Intune で管理している利用可能なアプリのリストから選択することができます。
他のアプリとの Web コンテンツの転送を制限	<p>この設定は、アプリで Web リンクを開くブラウザを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 任意のアプリ：ユーザーは、Web リンクを開くアプリを選択できます。 Intune 管理ブラウザ：Web リンクは、Intune によって管理されている任意のブラウザで開くことができます。 Microsoft Edge：Web リンクは Microsoft Edge で開きます。 BlackBerry Access：Web リンクは BlackBerry Access で開きます。 管理されていないブラウザ：Web リンクを開く Intune で管理されていないブラウザを指定します。
管理されていないブラウザの ID	Web リンクを開くブラウザのアプリパッケージ ID を指定します。
管理されていないブラウザ名	アプリパッケージ ID に関連付けられているアプリの名前を入力します。ユーザーがアプリをインストールしていない場合はこの名前が通知に表示され、ユーザーにアプリのインストールを求めます。
最低限の Android バージョンを要求する	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限の Android バージョンを指定します。デバイスの Android バージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。</p> <p>最大 4 つのリリース ID を指定できます。リリース識別子はピリオドで区切ります（例えば、10.3 または 10.3.14.2）。</p>
最低限の Android バージョンを要求する（警告のみ）	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限の Android バージョンを指定します。デバイスの Android バージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（閉じることができる）が表示されます。</p> <p>最大 4 つのリリース ID を指定できます。リリース識別子はピリオドで区切ります（例えば、10.3 または 10.3.14.2）。</p>
最低限の Android パッチバージョンを要求する	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限の Android パッチバージョンを指定します。デバイスの Android パッチバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。</p> <p>日付形式 YYYY-MM-DD を使用して、バージョンを指定します。</p>
最低限の Android パッチバージョンを要求する（警告のみ）	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限の Android パッチバージョンを指定します。デバイスの Android パッチバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（閉じることができる）が表示されません。</p> <p>日付形式 YYYY-MM-DD を使用して、バージョンを指定します。</p>

Intune アプリ保護プロファイル設定	説明
最低限のアプリバージョンを要求する	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合の最低限のアプリバージョンを指定します。デバイスのアプリバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーはアプリを使用できません。</p> <p>最大 4 つのリリース ID を指定できます。リリース識別子はピリオドで区切ります（例えば、10.3 または 10.3.14.2）。</p> <p>通常、アプリが違えばバージョン管理スキームも異なるため、最低限のアプリバージョンを指定する場合は、アプリごとに個別にプロファイルを作成する必要があります。</p>
最低限のアプリバージョンを要求する（警告のみ）	<p>この設定を選択して、そのアプリを使用する場合に推奨される最低限のアプリバージョンを指定します。デバイスのアプリバージョンが要件を満たしていない場合、ユーザーには通知（閉じることができる）が表示されます。</p> <p>最大 4 つのリリース ID を指定できます。リリース識別子はピリオドで区切ります（例えば、10.3 または 10.3.14.2）。</p> <p>通常、アプリが違えばバージョン管理スキームも異なるため、最低限のアプリバージョンを指定する場合は、アプリごとに個別にプロファイルを作成する必要があります。</p>
アプリの暗号化を無効にする	<p>この設定では、デバイスの暗号化が有効になっている場合に、アプリの暗号化を無効にするかどうかを指定します。</p>

Microsoft Intune で管理されているアプリのデータの消去

iOS および Android デバイスでは、[アプリを消去] コマンドを使用して、Intune で管理されているアプリからデータを削除できます。このコマンドが送信されても、アプリはアンインストールされません。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ユーザー] をクリックします。
2. データを消去するユーザーを検索してクリックします。
3. **<device model>** (Intune) タブをクリックします。
4. [アプリを消去] をクリックします。

Apple VPP アカウントの管理

Apple Volume Purchase Program (VPP) を使用すると、B2B アプリを含む、インストールされている iOS アプリを一括で購入、配布、更新できます。VPP アカウントに関連付けられた iOS アプリの購入済みライセンスを配布できるように、Apple VPP アカウントを BlackBerry UEM にリンクできます。

Apple VPP アカウントの追加

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] > [iOS App ライセンス] をクリックします。
2. [Apple VPP アカウントを追加] をクリックします。
3. VPP アカウントの名前とアカウントホルダー情報を入力します。
4. .vpp トークンファイルから 64 ビットコードをコピーし [VPP サービストークン] フィールドに貼り付けます。これは、VPP ストアからダウンロードした VPP アカウントホルダーのファイルです。
5. [次へ] をクリックします。
6. アプリリストに追加するアプリを選択します。アプリが既にアプリリストに追加されている場合は、それを選択できません。
7. 更新されたバージョンが BlackBerry UEM で利用可能になったときにアプリを自動的に更新する場合は、[新しいバージョンが利用可能になったときにアプリを自動的に更新する] を選択します。この設定は、この VPP アカウントのすべての VPP アプリに適用されます。
8. アプリが BlackBerry UEM から削除されたときに、アプリをデバイスから削除するには、[システムからデバイスが削除されたらアプリをデバイスから削除する] を選択します。
9. iOS デバイスのアプリが iCloud オンラインサービスにバックアップされないようにするには、[アプリに対する iCloud バックアップを無効化] を選択します。このオプションは、必須としてマークされた種別のアプリにのみ適用されます。アプリの種別は、アプリをユーザーまたはグループに割り当てるときに設定します。
10. [デフォルトのインストール方法] ドロップダウンリストで、次の操作のいずれかを実行します。
 - ・ ユーザーに対して、iOS デバイスにアプリをインストールするようにプロンプトを 1 回表示する場合は、[一度確認する] を選択します。ユーザーは、このプロンプトを無視しても、後から、BlackBerry UEM Client アプリの仕事用アプリリストまたはデバイスの仕事用アプリアイコンからアプリをインストールできます。
 - ・ [確認しない] を選択します。ユーザーに通知されません。ユーザーは、BlackBerry UEM Client アプリの仕事用アプリリストまたはデバイスの仕事用アプリアイコンからアプリをインストールできます。
11. [追加] をクリックします。

終了したら：

- ・ ✎ をクリックすると、VPP アカウント名、VPP アカウントホルダー情報、サービストークン、自動更新設定を編集できます。
- ・ Apple VPP アカウントを削除する場合は、削除する前にユーザーから関連付けられているライセンスがあるアプリを削除する必要があります。

デバイスへの Apple VPP ライセンスの割り当て

iOS デバイスに Apple Volume Purchase Program (VPP) ライセンスを割り当てることができます。ユーザーに代わって VPP のライセンスをデバイスに割り当てることで、アプリのインストールに Apple ID が不要になるので、ユーザーのプロセスが簡略化されます。また、アプリは、ユーザーの購入履歴に表示されずにインストールします。割り当てられたユーザーから割り当てられたデバイスに、アプリの既存の割り当てタイプを変更すると、ユーザーは、新しい割り当てが適用され、BlackBerry UEM 管理コンソールに表示される前に、アプリを再インストールする必要があります。

デバイスへの VPP ライセンスの割り当ては、MDM 制御でアクティブ化されている iOS デバイスでのみサポートされています。

次のいずれかにアプリを割り当てるときに、VPP ライセンスをデバイスに割り当てることができます。

- ユーザーアカウント
- アプリグループ
- ユーザーグループ
- デバイスグループ

Apple VPP ライセンスの割り当ての表示

ドメインでの Apple VPP ライセンスの割り当てのステータスを表示できます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] > [iOS App ライセンス] をクリックします。
2. 複数の Apple VPP アカウントを保有している場合は、VPP ライセンスの割り当てを表示する VPP アカウントをクリックします。

ドメインの iOS アプリごとに、次のライセンス情報を表示できます。

- 使用可能な VPP ライセンス数
 - 使用済みの VPP ライセンス数
3. アプリの [使用済みライセンス] 列で、使用済みのライセンスリンクをクリックします。
指定したアプリについて、次のアプリライセンスの割り当て情報を表示できます。
 - アプリのライセンスが与えられているユーザー名
 - アプリのライセンスの割り当て先がユーザーアカウントか、デバイスか
 - VPP ライセンスが使用されているか、使用されていないか
 - アプリがインストールされているか、インストールされていないか
 4. [閉じる] をクリックします。

ユーザーによる特定のアプリのインストール防止

ユーザーが特定のアプリをインストールできないようにするために、制限されたアプリのリストを作成し、コンプライアンスプロファイルを使用して制限を適用できます。たとえば、悪意のあるアプリや、大量のリソースを必要とするアプリをユーザーがインストールできないように設定できます。

特定のアプリの制限

iOS および Android デバイスの場合は、制限されたアプリリストからアプリを選択し、このようなアプリがインストールされたときにユーザーにプロンプトを表示するか仕事用データを削除するなどの強制アクションを設定するコンプライアンスプロファイルを作成できます。

次のデバイスでは、コンプライアンスプロファイルで指定されたアプリのユーザーによるインストールは自動的に防止されるため、強制アクションを指定する必要はありません。

- Samsung Knox デバイスでは、制限されたアプリをユーザーがインストールしようとする、アプリが制限されておりインストールできないことを示すメッセージがデバイスに表示されます。制限されたアプリがインストール済みの場合は無効になります。コンプライアンスプロファイルでは、アプリが個人用領域と仕事用領域にインストールされないようにするオプションを選択できます。
- 監視対象の iOS デバイスの場合、制限されたアプリをユーザーがインストールしようとする、アプリは非表示になります。制限されたアプリが既にインストールされている場合は、通知なしでユーザーに表示されなくなります。組み込みアプリを制限するには、コンプライアンスプロファイルを作成し、制限されたアプリリストにアプリを追加する必要があります。
- Android Enterprise デバイスでは、ユーザーがインストールできるのは仕事用領域に割り当てたアプリのみであるため、システムアプリ（電卓、時計、カメラなど）を制限する場合にのみ、強制アクションを使用してコンプライアンスプロファイルを作成する必要があります。制限されたアプリがデバイスにインストール済みの場合は無効になりません。

特定のアプリの許可

監視対象の iOS デバイスでは、許可されているアプリのリストを指定するコンプライアンスプロファイルを作成できます。他のアプリは、電話と環境設定のアプリを除いたすべてが自動的に禁止され、デバイスで非表示にされます。既にインストールされているアプリで許可リストにないものは、通知なしでユーザーに表示されなくなります。次のアプリは、BlackBerry UEM でデバイスを管理できるようにするため、デフォルトで許可リストに含まれています。

- BlackBerry UEM Client
- Web クリップアイコン
- BlackBerry Secure Connect Plus

同じ iOS アプリがコンプライアンスプロファイルの制限リストと許可リストの両方に割り当てられている場合、アプリは制限されます。

コンプライアンスプロファイルの作成の詳細については、「[デバイスのコンプライアンスルールの強制](#)」を参照してください。

ユーザーによる特定のアプリのインストールを防止する手順

ユーザーによるアプリのインストールを防止する場合は、次の操作を実行します。制限する特定のアプリを選択するか、許可する特定のアプリを選択するかに関わらず、制限されたアプリリストにアプリを追加する必要がありますことに注意してください。

手順	アクション
1	<p>制限されたアプリリストへのアプリの追加。</p> <p>メモ：この手順は、監視対象の iOS デバイスの組み込みアプリには適用されません。監視対象の iOS デバイスで組み込みアプリを制限するには、コンプライアンスプロファイル内の制限されたアプリリストにアプリを追加します。詳細については、「iOS : コンプライアンスプロファイル設定」を参照してください。</p>
2	<p>コンプライアンスプロファイルを作成します。</p>
3	<p>コンプライアンスプロファイルをユーザーアカウント、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てます。</p>

制限されたアプリリストへのアプリの追加

制限されたアプリリストは、コンプライアンスプロファイルで次のいずれかのルールを適用するときに選択できるアプリのリストです。

- ・ インストール済みの制限されたアプリ（iOS および Android デバイスの場合）
- ・ デバイス上の許可されたアプリのみを表示（監視対象の iOS デバイスの場合）

メモ：以下の手順は、監視対象の iOS デバイスの組み込みアプリには適用されません。監視対象の iOS デバイスの組み込みアプリを制限するには、コンプライアンスプロファイル内の制限されたアプリリストにアプリを追加する必要のみがあります。詳細については、「[iOS : コンプライアンスプロファイル設定](#)」を参照してください。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2. [制限されたアプリ] をクリックします。
3. + をクリックします。
4. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
制限リストに iOS アプリを追加します。	<ol style="list-style-type: none">a. [App Store] をクリックします。b. 検索フィールドで、追加するアプリを検索します。アプリ名、ベンダー、または App Store URL によって検索できます。c. [検索] をクリックします。d. 検索結果で、[追加] をクリックしてアプリを追加します。

タスク	手順
制限リストに Android アプリを追加します。	<ul style="list-style-type: none"> a. [Google Play] をクリックします。 b. [アプリ名] フィールドにアプリ名を入力します。 c. [Google Play からのアプリの Web アドレス] フィールドで、Google Play 内のアプリの Web アドレスを入力します。 d. [追加] をクリックしてアプリを追加するか、[追加して新規作成] をクリックして現在のアプリを追加した後に、別のアプリを追加します。

終了したら： [コンプライアンスプロファイル](#)を作成し、それをユーザー、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てます。

デバイスで実行できるアプリの制限

アプリロックモードプロファイルを使用して、デバイスの使用を1つのアプリまたは一連のアプリに制限できます。

たとえば、アプリロックモードプロファイルを使用して、トレーニング目的またはPOS デモ用に1つのアプリのみを実行するようにデバイスを制限することができます。iOS デバイスでは、ホームボタンが無効になり、ユーザーがデバイスを再起動するかスリープ解除すると、アプリが自動的に開きます。

メモ：ユーザーがデバイスにこのアプリをインストールしていない場合は、このユーザーまたはユーザーグループにプロファイルを割り当てるときに、このデバイスはこのアプリケーションに制限されません。

作業を始める前に：アプリのアプリパッケージ ID が必要であり、アプリリストを使用してアプリを選択する場合は、このアプリがアプリリストで使用可能であることを確認します。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [ポリシー] > [アプリロックモード] をクリックします。
3. + をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. プロファイルを適用するデバイスタイプを指定します。
6. 次のタスクのいずれかを実行します。

タスク	手順
監視対象の iOS デバイスで実行するアプリを指定します。	<p>[デバイスで実行するアプリを指定] セクションで、次の操作のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none">• [アプリリストからアプリを選択] をクリックし、[アプリを追加] をクリックして、リスト内のアプリをクリックします。• [アプリのアプリパッケージ ID を指定] をクリックして、アプリパッケージ ID を入力します（たとえば、<code>com.company.appname</code>>）。有効な文字は、大文字、小文字、0~9、ハイフン (-)、およびピリオド (.) です。• [組み込みの iOS アプリを選択] をクリックして、ドロップダウンリストからアプリを選択します。

タスク	手順
<p>Android デバイス (Samsung Knox MDM を使用して管理される Android Enterprise およびデバイス) で実行するアプリを指定します。</p>	<p>+</p> をクリックし、次の手順を実行して、デバイスを制限するアプリを指定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [アプリのアプリパッケージ ID を指定] をクリックして、アプリパッケージ ID (たとえば、<com.company.appname>) およびアプリの名前を入力します。有効な文字は、大文字、小文字、0~9、ハイフン (-)、およびピリオド (.) です。 [追加] をクリックします。 ・ [アプリリストからアプリを選択] をクリックして、リスト内のアプリをクリックします。 [追加] をクリックします。 <p>Android Enterprise デバイスの場合、デバイスを特定のアプリに制限する場合は、 [デバイスをシングルアプリに制限] をクリックしてアプリを選択します。この設定で指定したアプリは、デバイスが起動したときに自動的に開き、ユーザーは常にそのアプリに戻ります。アプリは、必要に応じてプロファイルで指定した他のアプリにアクセスできます。</p>
<p>Windows 10 デバイスで実行するアプリを指定します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ [アカウント] フィールドに、ドメイン名とユーザー名を含むユーザーアカウント名を入力します。ローカルユーザーの場合は、ドメイン名の代わりにデバイス名を使用します。 ・ [アプリケーションユーザーモデル ID] フィールドに、アプリの AUMID を入力します (たとえば、計算機アプリの AUMID は Microsoft.WindowsCalculator_8wekyb3d8bbwe!App です)。

7. iOS および Android デバイスの場合、 [管理者対応の設定] で、アプリの使用時にユーザーに対して有効にするオプションを選択します。
 8. iOS デバイスでは、 [ユーザー対応の設定] で、ユーザーが有効にできるオプションを選択します。
 9. [追加] をクリックします。
- 終了したら：必要に応じて、プロファイルをランク付けします。


管理コンソールでの個人用アプリのリストの表示

デフォルトでは、サポート対象アクティベーションタイプでアクティベーションされたデバイスを対象として、インストール済みの個人用アプリのリストが BlackBerry UEM に表示されます。ユーザーが [個人用アプリコレクションのオフ](#) できます。

この機能は、次のアクティベーションタイプでアクティベーションされたデバイスではサポートされません。


- iOS および Android : ユーザーのプライバシー
- Android 11 以降 : 仕事用と個人用 - フルコントロール (仕事用プロファイルがある Android Enterprise 完全管理のデバイス)
- Android : 仕事用と個人用 - ユーザーのプライバシー
- Samsung Knox : 仕事用と個人用 - ユーザーのプライバシー (Samsung Knox)
- iOS および Android : BlackBerry 2FA 専用のデバイス登録

作業を始める前に : 個人用領域にあるインストール済みアプリのリストを BlackBerry UEM で受信できるアクティベーションタイプで、アクティベーションプロファイルを作成し、これをユーザーまたはグループに割り当てます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] > [個人用アプリ] をクリックします。
2. 個人アプリと関連情報のリストを .csv ファイルにエクスポートするには、 をクリックします。
3. アプリの [アプリ名] 列で、アプリ名をクリックします。
特定のアプリについて、可能な場合は、一般のアプリのストアで対応するアプリの詳細を表示できます。
4. アプリの [インストール番号] 列で、インストール番号をクリックします。
特定のアプリでは、ユーザーアカウントとともに、アプリケーションがインストールされているデバイスを表示できます。

個人用アプリコレクションのオフ

デフォルトでは、サポート対象アクティベーションタイプでアクティベーションされたデバイスを対象として、インストール済みの個人用アプリのリストが BlackBerry UEM に表示されます。すべてのアクティベーションタイプで、個人用アプリコレクションをオフにできます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [エンタープライズ管理エージェント] を展開します。
3. 変更するプロファイルの名前をクリックします。
4.  をクリックします。
5. 各デバイスタイプの [個人用アプリのコレクションを許可する] チェックボックスをオフにします。
6. [保存] をクリックします。

終了したら : プロファイルをユーザー、ユーザーグループ、またはデバイスグループに割り当てます。

アプリのレーティングとレビュー

組織内のユーザーが iOS Android、および Windows 10 アプリを評価およびレビューできるかどうかを指定して、他のユーザーから提供されたレビューを表示できるようにすることができます。アプリについて送信されたレーティングとレビューは、環境外のユーザーには表示されません。

アプリの平均レーティング、送信されたレビュー数を確認でき、アプリの個々のレビューを閲覧できます。必要に応じて、レーティングとレビューを削除することもできます。

複数のバージョンのカスタムアプリを UEM に追加して、あるバージョンのアプリについてアプリレーティングとレビューを有効にした場合、指定された設定が、カスタムアプリのすべてのバージョンに適用されます。平均レーティングおよびレビュー数と、さまざまなバージョンのカスタムアプリについて送信されたアプリレーティングおよびレビューには、バージョンごとに同じ情報が表示されます。

デフォルトでは、UEM 管理コンソールのアプリリストに新しいアプリを追加すると、ユーザーは、そのアプリをレーティングし、レビューを提供し、組織の他のユーザーにより提供されたレビューを確認できます。デフォルトでは、アプリのレーティングとレビューは、既存のアプリでは無効になっていますが、必要に応じてこの機能を有効にすることができます。アプリのレーティングとレビューがアプリで有効になっている場合は、UEM に追加されているアプリのあらゆるバージョンに権限が適用されます。

Android Enterprise デバイスでは、アプリのレーティングとレビューはサポートされていません。

すべてのアプリに対するアプリのレーティングおよびレビューの有効と無効の切り替え

BlackBerry UEM に追加しているすべてのアプリに対してアプリのレーティングおよびレビューを有効または無効にし、そのレビューおよびレーティングに対するユーザーの介入のレベルを設定できます。

メモ：アプリのレーティングおよびレビュー設定は、設定を保存した後に BlackBerry UEM に追加したアプリのみ適用されます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[設定] > [アプリ管理] をクリックします。
2. [レーティングとレビュー] をクリックします。
3. アプリのレーティングおよびレビューを有効にするには、[アプリのレーティングとレビューを有効にする] を選択します。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード] を選択します。
 - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード] を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効] を選択します。
4. アプリのレーティングとレビューを無効にするには、[アプリのレーティングとレビューを有効にする] をオフにします。
5. [保存] をクリックします。

既存のアプリに関してアプリのレーティングとレビューを有効にする

アプリのレーティング、アプリに関するレビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示など、これらの操作をユーザーに許可するかどうかを指定すると、指定した権限はすべてのバージョンのアプリに適用されます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[アプリ] をクリックします。
2. アプリをクリックします。
3. [設定] タブの [アプリのレーティングとレビュー] ドロップダウンリストで、次のいずれかのアクションを実行します。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード] を選択します。
 - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード] を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを表示できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効] を選択します。
4. [保存] をクリックします。

管理コンソールでのアプリレビューの表示

アプリの全体的な平均レーティングと、アプリのユーザーが提供する個々のレーティングおよびレビューを表示できます。


1. 管理コンソールのメニューで、[アプリ] をクリックします。
2. オプションで、[アプリレーティング] 列をクリックして、レーティングとレビューが有効になっているアプリを順序付けます。

レーティングとレビューを有効にしたアプリは、次の順序で表示されます。

 - a. レーティングとレビューを含むアプリ
 - b. レーティングとレビューを含まないアプリ
 - c. レーティングが無効になっているアプリ
 - d. レーティングとレビューをサポートしていないアプリ
3. アプリをクリックします。
4. [*review number* レビュー] タブをクリックします。


アプリのレーティングとレビューの設定を複数のアプリに指定する

アプリのレーティング、アプリに関するレビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示など、これらの操作をユーザーに許可するかどうかを指定すると、指定した権限はすべてのバージョンのアプリに適用されます。

1. 管理コンソールのメニューで、[アプリ] をクリックします。
2. 次の操作のいずれかを実行します。
 - アプリリストの一番上にあるチェックボックスをオンにして、すべてのアプリを選択します。
 - アプリのレーティングとレビューを有効にする各アプリで、チェックボックスをオンにします。
3.  をクリックします。
4. 次の権限のいずれかを選択します。
 - アプリのレーティング、レビューの入力、環境内の他のユーザーが入力したレビューの閲覧をユーザーに許可する場合は、[パブリックモード] を選択します。
 - アプリのレーティングとレビューの入力のみをユーザーに許可する場合は、[プライベートモード] を選択します。ユーザーは、他のユーザーが入力したレビューを閲覧できません。レビューは、BlackBerry UEM 管理コンソールで表示できます。
 - アプリの評価、レビューの入力、他のユーザーが入力したレビューの表示をユーザーに許可しない場合は、[無効] を選択します。
5. [保存] をクリックします。

アプリのレーティングとレビューの削除

必要に応じて、アプリのレーティングとレビューを削除できます。

1. 管理コンソールのメニューで、[アプリ] をクリックします。
2. オプションで、[アプリレーティング] 列をクリックして、レーティングとレビューが有効になっているアプリを順序付けます。
3. レーティングとレビューが有効になっているアプリをクリックします。
4. [アプリの詳細] 画面で [*<review number>* レビュー] タブをクリックします。
5. [すべて選択] をクリックするか、または削除する各レビューの横にあるチェックボックスをオンにします。
6.  をクリックします。
7. [削除] をクリックします。
8. [保存] をクリックします。

監視対象の iOS デバイスのホーム画面レイアウトの設定

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [カスタム] > [ホーム画面のレイアウト] をクリックします。
3. + をクリックします。
4. [アプリの種類] リストで、追加するアプリの種類（たとえば、組み込みアプリ）を選択します。
5. アプリリストからホーム画面、ドック、またはフォルダにアプリアイコンをドラッグアンドドロップします。
6. [追加] をクリックします。

監視対象の iOS デバイスでのアプリ通知の管理

アプリ単位の通知プロファイルを使用すると、システムアプリおよび BlackBerry UEM を使用して管理するアプリを対象として、通知設定を設定できます。

影響を受けるアプリが既にユーザーのデバイスにインストールされている場合は、アプリ単位の通知プロファイルをユーザーアカウントに割り当てる必要があります。影響を受けるアプリがインストールされる前にプロファイルが適用されていた場合、ユーザーはアプリの通知をオンにできないことがあります。

作業を始める前に：アプリごとの通知プロファイルを割り当てる前に、通知設定を指定するアプリが、ユーザーのデバイスに既にインストールされていることを確認してください。影響を受けるアプリがインストールされる前にプロファイルがデバイスに適用されている場合、ユーザーはアプリの通知をオンにできないことがあります。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] をクリックします。
2. [カスタム] > [アプリごとの通知] をクリックします。
3. + をクリックします。
4. プロファイルの名前と説明を入力します。
5. [アプリごとの通知設定] セクションで、+ をクリックします。次のいずれかの操作を実行して、通知設定を指定するアプリを指定します。
 - 管理対象アプリリストからアプリを選択するには、[アプリリストからアプリを選択] をクリックします。アプリを検索して選択します。
 - パッケージ ID でアプリを指定するには、[アプリパッケージ ID を追加] をクリックします。アプリ名とパッケージ ID を入力します。
6. [次へ] をクリックします。
7. 組織のサイレントプロファイルと通知設定よりも重要アラートを優先するには、[重要アラートの有効化] をクリックします。
8. [通知] ドロップダウンリストで [有効] をクリックします。
9. 次の通知オプションのいずれかを選択します。
 - 通知センターで表示
 - ロック画面で表示
10. [通知アラートタイプ] ドロップダウンリストで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [なし]：デバイスユーザーは通知アラートを受信しません。
 - [バナー]：デバイスユーザーは、バナーで通知アラートを受信します。
 - [モーダルアラート]：デバイスユーザーは、モーダル通知アラートを受信します。
11. [プレビューを表示] ドロップダウンリストで、次のいずれかのオプションを選択します。
 - [常時]：通知には常にプレビューが含まれます。
 - [ロック解除された場合のみ]：通知には、デバイスがロック解除されている場合にのみプレビューが含まれます。
 - [なし]：通知にはプレビューは含まれません。
12. 次のいずれかの通知アラートオプションを選択します。
 - [バッジを有効化]：アプリにバッジを表示させるかどうかを指定します。
 - [音声を有効化]：アプリに音声を再生させるかどうかを指定します。

- **「CarPlay に表示」**：通知を Apple CarPlay に表示するかどうかを指定します。この設定は、iOS 12.0 以降のデバイスにのみ適用されます。

13. [保存] をクリックします。

14. 手順 4～13 を繰り返して、アプリごとの通知を追加します。

15. [追加] をクリックします。

終了したら：

- アプリの通知設定を編集するには、[アプリごとの通知設定] セクションで、アプリの通知設定をクリックし、必要に応じて設定を変更します。
- アプリごとの通知プロフィールを複数作成した場合は、プロフィールをランク付けします。

iOS デバイスの仕事用アプリアイコンのカスタマイズ

ユーザーが、MDM 制御 アクティベーションタイプで iOS デバイスをアクティベーションすると、デバイス上に仕事用アプリのアイコンが表示されます。ユーザーはこのアイコンをタップして、自身に割り当てられている仕事用アプリを表示することができます。また、必要に応じて仕事用アプリをインストールしたり、更新したりすることができます。

アイコンを変更すると、アクティベーションされたすべての iOS デバイスで更新されます。

この機能は、ユーザーのプライバシー アクティベーションタイプのデバイスではサポートされません。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[設定] をクリックします。
2. 左ペインで、[アプリ管理] を展開します。
3. [iOS の「仕事用アプリ」アプリ] をクリックします。
4. 次の操作のいずれかを実行します。

タスク	手順
仕事用アプリアイコンのカスタマイズ	<ol style="list-style-type: none">a. [名前] フィールドに、カスタムアイコンの名前を入力します。入力した名前は、デバイス上のアイコンの直下に表示されます。b. [参照] をクリックします。仕事用アプリアイコンの画像を見つけ、選択します。サポートされている画像形式は、.png、-jpg、または .jpeg です。透明な要素は使用しないでください。透明な要素はデバイス上で黒く表示されます。c. ユーザーが通常表示モードから全画面表示モードに仕事用アプリアイコンを切り替えられるようにするには、[全画面表示モードで「仕事用アプリ」アプリを表示する] を選択します。d. [保存] をクリックします。
仕事用アプリアイコンを削除します。	<p>ユーザーが BlackBerry Dynamics Launcher を使用している場合は、仕事用アプリアイコンを削除できます。</p> <ol style="list-style-type: none">a. [「仕事用アプリ」アプリを無効にする] をクリックします。b. [無効] をクリックします。

5. [保存] をクリックします。

OEM アプリの設定による Android デバイスの管理

BlackBerry UEM は Android OEMConfig アプリをサポートしています。これにより、アプリ設定を使用してデバイス製造元の API を管理できます。Samsung からのデバイスを含む多くの Android デバイスは、デバイスに独自の API を備えています。UEM は、プロファイルと IT ポリシールールを使用して、Knox Platform for Enterprise および BlackBerry API によって制御される設定を管理する機能を提供します。ただし、他の Android デバイスメーカーも、管理者が管理できるように設定されたデバイス固有の API を使用している場合があります。この機能を提供するために、メーカーは、管理者がアプリの設定を使用してデバイス機能を管理できるようにする、デバイス用の OEMConfig アプリを提供できます。

Samsung は Knox Platform for Enterprise デバイスの設定を許可する Knox Service Plugin アプリを提供します。Knox Service Plugin (KSP) は、Samsung の OEMConfig ベースのソリューションであり、Knox Platform for Enterprise 管理機能を EMM ソリューションで使用できるようにします。UEM での KSP の設定方法に関する詳細については、「[Knox Service Plugin プロファイルの作成](#)」を参照してください。

KSP の最小デバイス要件：UEM がサポートする Android および Knox のバージョン。

KSP の詳細については、[Samsung の情報](#)を参照してください。

KSP アプリをダウンロードするには、[Google Play](#) にアクセスしてください。

Knox Service Plugin を使用する場合は、次の点を考慮してください。

- Samsung デバイスでは、Knox Service Plugin または UEM IT ポリシーとプロファイルはどちらも優先されません。デバイスは、受信した最新の設定を使用します。
- Samsung では、UEM を使用して Samsung 固有のオプションを可能な限り管理し、Knox Service Plugin を使用して UEM で別の方法で設定できない設定のみ（ご使用の UEM バージョンではまだ管理できない Samsung デバイス機能の最新の更新など）を管理することを推奨しています。
- Knox Service Plugin を使用する場合は、デバイスの動作の一貫性を保つために、アプリの設定が IT ポリシーで設定された動作と一致していることと、デバイスに送信されるプロファイルも一致していることを確認します。

Android Enterprise OEMConfig の詳細については、<http://www.appconfig.org/android.html> にアクセスしてください。

Knox Service Plugin プロファイルの作成

Knox Service Plugin を有効にし、アプリを追加して、KSP プロファイル設定を管理できます。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[ポリシーとプロファイル] > [ポリシー] > [KNOX サービスプラグイン] をクリックします。
2. [Knox サービスプラグインを有効にする] ダイアログボックスで、[有効にする] をクリックします。
Knox Service Plugin アプリが自動的にアプリリストに追加されます。
3. [Knox Service プラグインプロファイル] ページで、+ をクリックします。
4. プロファイルの名前を指定します。
5. プロファイルの設定を指定します。
6. [保存] をクリックします。

作成したポリシーが、Knox Service Plugin アプリのアプリ構成テーブルのアプリリストに表示されます。

Google Play でプレリリースアプリに組織のエンタープライズ ID を取得

Google Play では、開発者がプレリリースアプリのトラック（ベータトラックなど）を作成し、特定の企業をトラックの対象とすることができます。組織でリリース前のアプリを使用している場合は、アプリにアクセスするために、組織のエンタープライズ ID をアプリ開発者に提供する必要があります。

作業を始める前に：[Android Enterprise](#) を設定します。

1. 管理コンソールのメニューバーで、[設定] > [外部統合] > [Android & Chrome 管理] の順にクリックします。[エンタープライズ ID] の下にエンタープライズ ID が表示されます。
2. Google Play 開発者アカウントに追加するエンタープライズ ID を組織のアプリ開発者に付与します（[アプリ] > [テスト] > [トラックの管理] > [テスター] タブ > [組織の管理]）。

付録：アプリの動作

次のセクションでは、アクティベーションタイプとアプリの種別に基づいたデバイスでのアプリの動作について説明します。

MDM 制御 アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「[BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加](#)」を参照してください。

MDM 制御 でアクティブ化された iOS または iPadOS デバイスの場合、次の動作が行われます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新される とき	アプリがユーザーから割り当て解除される とき	デバイスが BlackBerry UEM から 削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	<p>監視対象のデバイスで、アプリは自動的にインストールされます。アプリがすでにインストールされている場合、アプリは UEM によって管理されます。</p> <p>非監視対象デバイスでは、アプリをインストールするように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。アプリが既にインストールされている場合、UEM によるアプリの管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p> <p>コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。</p>	<p>iTunes は、利用可能な更新についてユーザーに通知します。</p> <p>アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。（最大 1 時間かかります）</p> <p>iTunes にアクセスできないデバイスの場合、ユーザーには通知されませんが、デバイスに Apple VPP ライセンスが割り当てられている場合、アプリカタログから更新をダウンロードできます。</p>	<p>アプリは通知なしに自動的に削除されます。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>アプリは自動的に削除されます。</p>

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新される とき	アプリがユーザーから割り当て解除される とき	デバイスが BlackBerry UEM から 削除されるとき
種別がオプションになっている 一般のアプリ	<p>アプリが監視対象デバイスに既にインストールされている場合、アプリは UEM によって管理されます。非監視対象デバイスでは、UEM での管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。</p> <p>ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されます。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したときのみ（アプリがインストールされているかどうかに関わらず）、「新規/更新」リストから削除されます。</p> <p>ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できません。</p>	<p>iTunes は、利用可能な更新についてユーザーに通知します。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したときに（アプリが更新されているかどうかに関わらず）、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリは通知なしに自動的に削除されません。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>アプリは自動的に削除されます。</p>

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新される とき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	<p>監視対象のデバイスで、アプリは自動的にインストールされます。アプリがすでにインストールされている場合、アプリは UEM によって管理されます。</p> <p>非監視対象デバイスでは、アプリをインストールするように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。アプリが既にインストールされている場合、UEM によるアプリの管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。ユーザーがインストールをキャンセルした場合、アプリカタログからアプリをインストールできません。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p> <p>コンプライアンスプロファイルを使用して、必</p>	<p>アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリは通知なしに自動的に削除されます。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>アプリは自動的に削除されます。</p>

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新される とき	アプリがユーザーから割り当て解除される とき	デバイスが BlackBerry UEM から 削除されるとき
種別がオプションになっている 内部アプリ	<p>アプリが監視対象デバイスに既にインストールされている場合、アプリは UEM によって管理されます。非監視対象デバイスでは、UEM での管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリは通知なしに MDM 制御でアクティブ化されたデバイスから自動的に削除されます。</p> <p>アプリはユーザーのプライバシーでアクティブ化されたデバイスから削除されません。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>アプリは自動的に削除されます。</p>

アプリをインストールする際のプロンプトの動作については、「[アプリリストへの iOS アプリの追加](#)」を参照してください。

ユーザーのプライバシー アクティベーションを使用した iOS デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「[BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加](#)」を参照してください。

ユーザーのプライバシーで iOS および iPadOS デバイスをアクティブ化する場合、アプリ管理を許可するかどうかを選択できます。アプリ管理を許可する場合、ユーザーのプライバシー アクティベーションのアプリの動作は MDM コントロールのアクティベーションと同じです。ユーザーのプライバシーでアクティブ化されたデバイスのアプリ管理を許可しない場合、次の動作が行われます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	<p>ユーザーはアプリのインストールを要求されません。ユーザーは、必要なアプリをインストールするためにアプリカタログに移動する必要があります。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>iTunes は、利用可能な更新についてユーザーに通知します。</p> <p>アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。（最大1時間かかります）</p> <p>iTunes にアクセスできないデバイスの場合、ユーザーには通知されませんが、アプリカタログから更新をダウンロードすることができます。</p>	<p>アプリはデバイスに残ります。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>アプリはデバイスに残ります。</p>
種別がオプションになっている一般のアプリ	<p>アプリが既にインストールされている場合は何も起こりません。</p> <p>ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されます。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したときにのみ（アプリがインストールされているかどうかに関わらず）、「新規/更新」リストから削除されます。</p> <p>ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。</p>	<p>iTunes は、利用可能な更新についてユーザーに通知します。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したときに（アプリが更新されているかどうかに関わらず）、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリはデバイスに残ります。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>アプリはデバイスに残ります。</p>

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	<p>アプリが既にインストールされている場合、UEMによるアプリの管理を許可するように求めるプロンプトがユーザーに表示されます。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリはデバイスに残ります。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>アプリはデバイスに残ります。</p>
種別がオプションになっている内部アプリ	<p>アプリが既にインストールされている場合は何も起こりません。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリは、ユーザーがアプリを更新したときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p>	<p>アプリはデバイスに残ります。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>アプリはデバイスに残ります。</p>

デバイスにアプリをインストールする際のプロンプトの動作については、「[アプリリストへの iOS アプリの追加](#)」を参照してください。

Android Enterprise デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「[BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加](#)」を参照してください。

Android Enterprise デバイス（Android Enterprise でアクティブ化された Samsung Knox デバイスを含む）の場合、次の動作が行われます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている一般的なアプリ	アプリは自動的にインストールされます。	アプリは自動的に更新されます。	アプリはデバイスでアンインストールされます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。
種別がオプションになっている一般的なアプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 アプリは仕事用 Google Play に表示されます。	Google Play for Work は、ユーザーに更新を通知しません。	アプリはデバイスでアンインストールされます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。
BlackBerry UEM でホストされている必須の種別になっている内部アプリ	仕事用領域のみ デバイスでのみサポートされます。 アプリは自動的にインストールされます。	仕事用領域のみ デバイスでのみサポートされます。 アプリは自動的にインストールされます。	アプリはデバイスでアンインストールされます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。
BlackBerry UEM でホストされているオプションの種別になっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 アプリは仕事用 Google Play に表示されます。	Google Play for Work は、ユーザーに更新を通知しません。	アプリはデバイスでアンインストールされます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。
Google Play でホストされている必須の種別になっている内部アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。	Google Play for Work は、ユーザーに更新を通知しません。	アプリはデバイスでアンインストールされます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除される時
Google Play でホストされているオプションの種別になっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 アプリは仕事用 Google Play に表示されます。	Google Play for Work は、ユーザーに更新を通知します。	アプリはデバイスでアンインストールされます。	仕事用プロファイルと割り当てられた仕事用アプリケーションはデバイスから削除されます。

デバイス SR 要件プロファイルでフォアグラウンドで実行されているアプリケーションの更新動作を指定できません。

仕事用プロファイルがない Android デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカタログが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「[BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカタログの追加](#)」を参照してください。

Android および MDM 制御 でアクティブ化したユーザーのプライバシー デバイスの場合、次の動作が行われません。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	<p>ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されません。</p> <p>アプリは、ユーザーが詳細を表示したとき（アプリがインストールされていない場合でも）、またはユーザーがアプリをインストールしたときに、「新規/更新」リストから削除されます。</p> <p>コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。</p>	ユーザーには Google Play から通知されます。	<p>ユーザーはアプリを削除するように要求されます。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。
種別がオプションになっている一般のアプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。	ユーザーには Google Play から通知されます。	<p>ユーザーはアプリを削除するように要求されます。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	ユーザーはアプリを削除するように要求されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	<p>ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されません。</p> <p>アプリは自動的にインストールされます。</p> <p>ユーザーが詳細を表示すると、またはアプリがインストールされると、アプリは [新規/更新] リストから削除されません。</p> <p>コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できません。</p>	<p>ユーザーは、アプリカタログへの変更について通知されません。</p> <p>更新は自動的にインストールされます。</p> <p>ユーザーが詳細を表示すると、またはアプリが更新されると、アプリは [新規/更新] リストから削除されます。</p>	<p>ユーザーはアプリを削除するように要求されます。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>ユーザーはアプリを削除するように要求されます。</p>
種別がオプションになっている内部アプリ	<p>ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。</p> <p>アプリは「新規/更新」リストに表示されます。</p>	<p>アプリは「新規/更新」リストに表示されます。</p>	<p>ユーザーはアプリを削除するように要求されます。</p> <p>アプリはアプリカタログに表示されなくなります。</p>	<p>ユーザーはアプリを削除するように要求されます。</p>

Windows 10 デバイスでのアプリの動作

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるときの動作	アプリがユーザーから割り当て解除されるときの動作	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるときの動作
種別が必須になっているオフライン Windows Store アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。
種別が必須になっているオンライン Windows Store アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。
種別がオプションになっているオフライン Windows Store アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 オフラインアプリの場合、ユーザーは BlackBerry UEM App Catalog からアプリをインストールします。 Windows 10 Mobile デバイスではサポートされていません。	アプリをアンインストールするように求めるプロンプトは、ユーザーに表示されません。	割り当てられたアプリをアンインストールするように求めるプロンプトは、ユーザーに表示されません。
種別がオプションになっているオンライン Windows Store アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 オンラインアプリの場合、ユーザーはデバイス上の Windows Store アプリからアプリをインストールします。 Windows 10 Mobile デバイスではサポートされていません。	アプリをアンインストールするように求めるプロンプトは、ユーザーに表示されません。	アプリをアンインストールするように求めるプロンプトは、ユーザーに表示されません。
種別が必須になっている内部アプリ	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるときの動作	アプリがユーザーから割り当て解除されるときの動作	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるときの動作
種別がオプションになっている内部アプリ	サポートされていません	サポートされていません	サポートされていません

Samsung Knox デバイスでのアプリの動作

BlackBerry Dynamics が有効になっているデバイスの場合、「機能 - BlackBerry App Store」資格をユーザーに割り当てている場合は、仕事用アプリのカatalogが BlackBerry Dynamics Launcher に表示されます。詳細については、「[BlackBerry Dynamics Launcher への仕事用アプリカatalogの追加](#)」を参照してください。

メモ：Samsung Knox アクティベーションタイプは、将来のリリースで廃止されます。Knox Platform for Enterprise をサポートするデバイスは、Android Enterprise アクティベーションタイプを使用してアクティブ化できます。詳細については、[KB 54614](#) を参照してください。

「MDM 制御」（Android Enterprise ではない）でアクティベーションを行った Samsung Knox デバイスの場合、以下のような動作になります。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	<p>ユーザーはアプリをインストールするように要求されます。</p> <p>割り当てられたアプリは BlackBerry UEM Client に表示されます。ユーザーがインストールボタンをクリックすると、Google Play が開いて、ここからアプリがインストールされます。</p> <p>コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。</p>	<p>Google Play は、ユーザーに更新を通知します。</p> <p>[新規/更新] リストにアプリが表示されます。</p>	<p>ユーザーはアプリをアンインストールするように要求されます。</p>	<p>ユーザーは割り当てられた仕事用アプリケーションをアンインストールするように要求されます。</p>

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別がオプションになっている一般のアプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 割り当てられたアプリは BlackBerry UEM Client に表示されます。ユーザーがインストールボタンをクリックすると、Google Play が開いて、ここからアプリがインストールされます。	Google Play は、ユーザーに更新を通知します。 [新規/更新] リストにアプリが表示されます。	ユーザーはアプリをアンインストールするように要求されます。	ユーザーは割り当てられた仕事用アプリケーションをアンインストールするように要求されます。
種別が必須になっている内部アプリ	アプリは自動的にデバイスにインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	アプリは自動的に更新されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。
種別がオプションになっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリをインストールします。	ユーザーはアプリを更新するかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリを更新します。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。

[仕事用と個人用 - フルコントロール (Samsung Knox)]、および [ユーザーのプライバシー (Samsung Knox)] でアクティベーションを行ったデバイスの場合、以下のような動作になります。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新される とき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている一般のアプリ	<p>すべての一般のアプリは、仕事用領域ではデフォルトで制限されます。</p> <p>ユーザーはアプリをインストールするように要求されます。</p> <p>割り当てられたアプリは BlackBerry UEM Client に表示されます。ユーザーがインストールボタンをクリックすると、Google Play が開いて、ここからアプリがインストールされます。</p> <p>コンプライアンスプロファイルを使用して、必須アプリがインストールされていない場合に実行する操作を定義できます。</p>	Google Play は通知を送信します。	アプリは個人用領域に残されますが、仕事用領域から削除されます。	仕事用領域は削除され、アプリは個人用領域に残されます。
種別がオプションになっている一般のアプリ	<p>すべてのアプリは、仕事用領域でデフォルトで制限されません。</p> <p>割り当てられたアプリは BlackBerry UEM Client に表示されますが、Google Play からインストールする必要があります。</p> <p>Google Play は、ユーザーに割り当てられた IT ポリシーで有効にする必要があります。</p>	Google Play は通知を送信します。	アプリは個人用領域に残されますが、仕事用領域から削除されます。	仕事用領域は削除され、アプリは個人用領域に残されます。

アプリタイプ	アプリがユーザーに割り当てられるとき	アプリが更新されるとき	アプリがユーザーから割り当て解除されるとき	デバイスが BlackBerry UEM から削除されるとき
種別が必須になっている内部アプリ	アプリは、仕事用領域に自動的にインストールされます。ユーザーはアプリをアンインストールできません。	更新が自動的にインストールされます。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用領域は削除され、アプリは個人用領域に残されます。
種別がオプションになっている内部アプリ	ユーザーはアプリをインストールするかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリをインストールし、アプリは仕事用領域にインストールされません。	ユーザーはアプリを更新するかどうかを選択できます。 ユーザーは BlackBerry UEM Client からアプリを更新します。	アプリは自動的にデバイスから削除されます。	仕事用領域は削除され、アプリは個人用領域に残されます。

商標などに関する情報

©2024 BlackBerry Limited. BLACKBERRY、BBM、BES、EMBLEM Design、ATHOC、CYLANCE、SECUSMARTなどの商標（ただし、これらに限定されるとは限らない）は BlackBerry Limited、その子会社および関連会社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づいて使用され、当該の商標に対する独占権は明確に留保されています。その他すべての商標は各社の所有物です。

該当する特許は、次の場所で確認できます：www.blackberry.com/patents。

本書は、参照用として本書で取り上げるすべての文書（提供される文書または BlackBerry の Web サイトで参照可能な文書）を含めて「現状のまま」または「参照可能な形で」提供されるか、またはアクセスすることができ、BlackBerry Limited およびその関連会社（「BlackBerry」）はいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry は本書の誤記、技術的な誤りまたはその他の誤り、エラー、遺漏について何ら責任を負いません。BlackBerry の所有権、機密情報および/または企業秘密を保護するため、本書では一部の BlackBerry テクノロジーの側面を一般化された用語で記述している場合があります。BlackBerry は、本書に含まれる情報を定期的に変更する権利を留保します。ただし、BlackBerry には、本書への変更、更新、拡張、または他の追加を適時ユーザーに提供する義務はないものとします。

本書は、第三者をソースとする情報、ハードウェアまたはソフトウェア、製品またはサービス（コンポーネントや、著作権保護されたコンテンツなど）、および/または第三者の Web サイト（これらをまとめて「サードパーティ製品およびサービス」という）への参照を含んでいる可能性があります。BlackBerry は、サードパーティ製品およびサービスの内容、正確性、著作権遵守、互換性、性能、信頼性、適法性、品格、リンク、他の側面などに限定することなく、サードパーティ製品およびサービスを一切管理することなく、責任も負いません。本書においてサードパーティ製品およびサービスを参照することは、BlackBerry がサードパーティ製品およびサービスまたは第三者を保証することを意味するものではありません。

該当する司法管轄地域の適用法で明確に禁じられている場合を除き、本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスについて、耐久性、特定の目的または使用に対する適合、商品性、適性品質、権利侵害の不存在、品質満足度、権原、または制定法、慣習法、取引過程、商慣習から生じる、本書またはその使用に関する、または性能または性能の不履行に関する条件付け、承認、表明、保証などに限定することなく、明示的または黙示的に、いかなる条件付け、承認、表明、または保証も除外されます。ユーザーは、国や地域によって異なる他の権利を有する場合があります。一部の司法管轄地域では、黙示的な保証および条件の除外事項または限定事項は禁止されています。法律で認められている範囲で、本書に関連する黙示的な保証または条件は、上記に定めるように除外できないが限定できる場合、ユーザーが本書または該当する対象物を初めて入手してから 90 日間に限定されます。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、本書またはその使用に関連して、または本書で参照されているソフトウェア、ハードウェア、サービス、またはサードパーティ製品およびサービスの性能または性能の不履行に関連して、直接的、必然的、典型的、偶発的、間接的、特殊的、懲罰的、または加重的損害、金銭的損失による損害（利益または収益の損失、予想される貯蓄の未達成、事業の中断、ビジネス情報の消失、ビジネス機会の喪失、データの破損または消失、データの送受信の失敗、BlackBerry 製品またはサービスと併用したアプリケーションに関連する問題、ダウンタイムコスト、BlackBerry 製品またはサービスあるいはその一部の使用機会や通信サービスの使用機会の喪失、代替品コスト、保険料、設備費、保守費、資本コストなど）に限定することなく、損害を予想できたかどうかを問わず、BlackBerry が損害の可能性について警告を受けていた場合を含め、いかなる場合においても、BlackBerry はいかなる損害の責任も負わないものとします。

該当する司法管轄地域の適用法で認められている最大限の範囲で、契約、不法行為、またはユーザーに対する過失責任または厳格責任について、BlackBerry は他のいかなる義務、責務、または責任も負わないものとします。

本書の限定事項、除外事項、および免責事項は、（A）訴訟原因、請求、またはユーザーによる行為（契約違反、過失、不法行為、厳格責任、その他の法理論など）の性質に関係なく、この契約の基本目的または本書に記載されている救済策の根本的違反または不履行を免れるため、（B）BlackBerry およびその関連会社、その後継

者、譲受人、代理業者、納入業者（通信事業者を含む）、認可された BlackBerry 販売業者（通信事業者を含む）およびその取締役、従業員、および請負業者に適用されます。

上記に定める限定事項および除外事項に加えて、いかなる場合においても、BlackBerry の取締役、従業員、代理業者、販売業者、納入業者、請負業者または BlackBerry の関連会社は、本書に起因または関連する責任を負わないものとします。

ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスの加入、インストール、または使用前に、通信事業者がサードパーティ製品およびサービスのすべての機能をサポートすることに同意していることを確認する責任を負います。一部の通信事業者は、BlackBerry® Internet Service への加入によるインターネット閲覧機能を提供しない場合があります。サービスの利用、ローミング、サービスプラン、その他の機能については、通信事業者に問い合わせてください。BlackBerry 製品およびサービスにおけるサードパーティ製品およびサービスのインストールまたは使用には、第三者の権利を侵害または妨害しないように、特許、商標、著作権、または他のライセンスが必要になる場合があります。ユーザーは、サードパーティ製品およびサービスを使用するかどうかを決定し、使用するためにサードパーティライセンスが必要かどうかを確認する責任を負います。必要な場合、ユーザーはライセンスを取得する責任を負います。ユーザーは、必要なライセンスをすべて取得するまで、サードパーティ製品およびサービスをインストールまたは使用してはなりません。BlackBerry 製品およびサービスで提供されるサードパーティ製品およびサービスは、ユーザーの便宜のために「現状のまま」提供され、BlackBerry は明示的にも黙示的にもいかなる条件付け、承認、表明、または保証もしないものとし、BlackBerry はそれに関連するいかなる責任も負わないものとします。ユーザーによるサードパーティ製品およびサービスの使用は、ライセンスまたは BlackBerry との他の契約で明示的に対象になっている場合を除き、個別のライセンスおよび第三者との他の該当契約の条件に従うものとし、その制約を受けるものとします。

BlackBerry 製品またはサービスの使用条件は、個別のライセンスまたは BlackBerry との他の該当契約に定められています。本書の内容は、本書以外に BlackBerry 製品またはサービスの一部に対して BlackBerry が提供した文書による明示的な契約または保証を破棄するものではありません。

BlackBerry Enterprise Software には、特定のサードパーティ製ソフトウェアが組み込まれています。このソフトウェアに関連するライセンスおよび著作権情報は、<http://worldwide.blackberry.com/legal/thirdpartysoftware.jsp> でご確認いただけます。

BlackBerry Limited
2200 University Avenue East
Waterloo, Ontario
Canada N2K 0A7

BlackBerry UK Limited
Ground Floor, The Pearce Building, West Street,
Maidenhead, Berkshire SL6 1RL
United Kingdom

Published in Canada